

# データ校による分析(国語)

学習指導改善調査28年度

学年	教科	問題	多く見られた誤答と分析
4年	国語	①～⑥	④では、話題に沿って必要な情報を選択し、選んだ理由について表現する問題であったが、理由を適切に表現できない様子が見られた。考えたことを表現する活動を積極的に取り入れていく。
4年	国語	①～⑥	④話題に沿って必要な事項を選択する力が不足 ⑤文章を正しく表現する力が不足
4年	国語	①～⑥	④正しく書き直す意味が分からずに、適当に回答してしまう児童が見られた。
4年	国語	①～⑥	④話題に沿って必要な事柄を選択した理由を説明することができない。題意を理解できないため、利用者についての説明をしてしまった。 ⑤文末が「～だ」の一文を見つけ、それを「～です」と正しく表現することができない。長い文章の中から、表現を直さなければならない一文を見つけることができない傾向が合った。
4年	国語	①～⑥	④「関係ないから」ということだけで、何に関係ないのか書かれていない子がいた。 ⑥ 全文を写さなければならないのだが、「まだ、」という言葉を書かない子もいた。問題文を注意深く読む必要がある。
4年	国語	①～⑥	④利用者の数を紹介しなかったのはなぜか、「使う人のことを考えた工夫」という調べる内容から考えて説明しようという問題では、出題の意図が分からず、設問に「利用者の数は、」に続いて、取材メモにある「一日百～百五十人・・・」という文書をそのまま書く誤答が多く見られた。
4年	国語	①～⑥	④何とはなくわかっているが、「関係がない」という言葉で表現できない子が多かった。無答も目立った。 ⑤句読点の落ちが多数。文全体の直しや付け加えとらえている児童も多かった。
4年	国語	①～⑥	④取材メモにある利用者数について記述していた。問題文を読みとばし、回答欄の「りよう者の数は」の書き出しを見て当てはまる文言を探して書いたと思われる。
4年	国語	①～⑥	④内容をそのまま説明している。なぜそうなるのかの説明ができない。
4年	国語	①～⑥	・④の誤答が多かった。問題の中にある《取材メモ》のAの中に書いてある記述を、そのまま記入している児童が多い。「問題の意味が理解できていない・読解できていない」ことが考えられる。 ・⑤の誤答が多い。「文」の意味を理解していないか、大雑把に問題を把握し、なんとなく似た文章を書いていることも考えられる。
4年	国語	①～⑥	④について、利用者の数が工夫ではないことに気づかずに説明している。 ⑤は敬体の文の中に状態が混ざっていることに気づかず、直す場所を正しく指摘できない。
4年	国語	①～⑥	④「利用者の数」を紹介しなかった理由なのに、利用者の数を説明していた。また、「使う人のことを考えた」など、理由のキーワードが落ちていた。問題をよく読み取っていない。
4年	国語	①～⑥	④誤答 りようの数は1日百～百五十人ぐらいが利用している。 ・取材メモや組み立て表の内容を理解できないので、聞かれている意味が分からなかったため。
4年	国語	①～⑥	④「一日百～百五十人くらい～」と、問題の主旨に合わない回答 ⑤「また」や読点が抜けている。抜き出さずに、どう違うかを記述している。 いずれも、問題をよく読んで答える力を付ける指導が必要。
4年	国語	①～⑥	④→問題文の条件である、「調べる内容から考えて」ということを理解できずに、別の内容を書いている。 ⑤→文の始めの「また」から書いていない。直さなければいけない文を見つけられない。
4年	国語	①～⑥	⑤条件に合わせて表現を修正する問題での誤答。以下のものが目立った。「また」が書かれていない。一文で表現すべきところを複数の文を書いている。句読点の欠落。 《改善策》「条件を提示して、それに合わせて書く」ということを授業中にも取り入れていく。
4年	国語	①～⑥	④話題に沿った情報を選択する力が弱い。 ⑤情報がたくさんあり、どの資料に着目するか分かっていない。 ○たくさんの情報の中から必要なキーワードや事柄を抜き出す学習を重点的に行う必要がある。
4年	国語	①～⑥	④問われていることをよく理解できていないため、理由を正しく説明できていない。問題をしっかりと読むことを繰り返し指導する。
4年	国語	①～⑥	④において、問題文を読んでいないので、「利用者の数は～」につながる説明を書く児童が多かった。 誤答例:利用者の数は、一日百～百五十人ぐらいが利用しているから
4年	国語	①～⑥	④分析 「りよう者の数」は、「使う人のことを考えたくふう」ではないことを理解できていない。
4年	国語	①～⑥	⑤敬体で書かれた文章中にある常体の一文を抜き出すことができない児童が多かった。普段から、文末をそろえることを意識した作文指導をしていくことで改善する。

# データ校による分析(国語)

学習指導改善調査28年度

4年	国語	⑦～⑩	⑧については、資料を分類する力が不十分であったことが原因であると考えられる。資料を収集し、目的に応じて調べたことを分類する活動に力を入れる必要がある。
4年	国語	⑦～⑩	⑨資料を読み取る力の不足
4年	国語	⑦～⑩	段落を意識しないで書く児童が見られた。資料をもとに自分の考えを書くことができない児童がいた。書くことに抵抗感をもっており、ほぼ白紙回答の児童も見られた。
4年	国語	⑦～⑩	⑨組み立て表の「終わり」部分に内容に合うまとめの文を書くことができない。「始め」および「中」と対応していない。「使う人のことを考えた工夫」という話題からそれてしまっている。 ⑩時間内に指定された文字数で文章を記述できなかった。組み立て表をもとに書かず、自分なりに書く傾向があった。時間を意識していない傾向がある。
4年	国語	⑦～⑩	⑪作文の内容が、全く別の物であったり、見本の大山図書館の内容を書いたりする子がいた。問題の意味を理解していないようだった。問題全体をとらえられるとよい。
4年	国語	⑦～⑩	⑫条件に「4つの段落で書く。」「223字以上書く」という条件があるのに、最初のマス目を1字空けることをしないで書いたり、223字に達しなかったりする誤答が多く見られた。条件を設定して文章を書くことに慣れていないと考察する。
4年	国語	⑦～⑩	⑨案内図にしっかりと目を通していないため、吹き出し上に見出しがあることに気づいていない。ほかの施設(ATMやリサイクルコーナーや休憩所)のことを書いている児童が多かった。また、「～のことを考えた工夫」という表現につながらない書き方をしている児童もいた。 ⑩～⑫文字数が足りず採点対象とならなかった。
4年	国語	⑦～⑩	⑨森さんの紹介文を詳しく書き直すという誤答が多かった。「《森さんが書いたしょうかい文》をさん考にして」という問いの文からそのように誤って解釈したことや、作文用紙が別になっていることもあり「問い二でえらんだ内容」への意識が向かなかったことがあると思われる。
4年	国語	⑦～⑩	⑩～⑫作文。書いている児童はほとんどが正解している。段落を5段落構成にしている児童も多かった。
4年	国語	⑦～⑩	・⑨の誤答は、「《森さんが書いたしょうかい文》のまとめを参考にして」いないものが多かった。また、まとめの内容が対応していないものも見られた。「どこ」を参考にしてよいか理解していないことや、内容をどのように入れるべきなのか言語を取捨選択する力が弱いことが考えられる。 ・⑫段落を意識して書いていないものが多かった。3割が⑩指定文字数で書けていない。指定文字数を書けた児童の中でも、内容のまとまりで段落構成をしていない誤答が多かった。書く内容を取捨選択して、文章に表現する力が弱い。
4年	国語	⑦～⑩	⑩問題の理解が不十分のため、大山図書館についての文章を書けるものが多い。また、分量が規定に達していない。
4年	国語	⑦～⑩	⑨「終わり」の記述なのに、「始め」の繰り返しのみの記述や、後の文に続かない記述であった。「終わり」には、紹介文全体で一番伝えたいことをまとめるというところが甘い。⑩「メモを選択し記述する」でメモに書かれていることが、文章に全て書かれていない。メモの内容をしっかりと読み取る力が足りない。
4年	国語	⑦～⑩	⑨誤答 お客様、子ども広場 ・問いの内容が理解できなかったり、メモの内容を読んでいない。 前の1の問題と関連があるのに、理解していないために、何を書けばよいか分からない。
4年	国語	⑦～⑩	⑪→「書き出しの一字下げ」「改行の仕方」など、原稿用紙の使い方の習熟が低い。 四段落構成で文章が書けていない。
4年	国語	⑦～⑩	⑦⑧資料に依拠せず、誰のことを考えた工夫なのか自由に考えて誤答になっている。 ⑨「体の不自由な人やお年寄り」「小さな子ども」というキーワードがない。 《改善策》 複数の資料を関連付けながら考えていく学習活動を行う。 ⑩図書館のことを書いている。選んだメモを使っていない。メモにある内容を書いていない。メモを使って書くことが習慣化されていない現状がうかがわれる。 《改善策》 単元の学習で行った技能を、他の場面でも活用する学習を行う。
4年	国語	⑦～⑩	⑪話題に沿った情報を記述する力が弱い。 ⑫はじめ・中・終わりの構成に沿った文章を書く力が弱い。 ○日常的に書く活動を取り入れ、文章の構造をおさえた指導を行う必要がある。
4年	国語	⑦～⑩	⑫一字下げを忘れていた箇所がある、段落数が多いなどの間違いが見られた。問われていることに正対していない。
4年	国語	⑦～⑩	⑦、⑧について、案内図の文章をそのまま写していた。 誤答例:「体の不自由な人もお年寄りも安心」のことを考えたくふう
4年	国語	⑦～⑩	⑦⑨誤答 どちらも「あ」の「体の不自由な人とお年寄り」と書くべきところを「体の不自由な人」「お年寄り」と一方しか書いていない。

4年	国語	⑦～⑩	⑩《森さんが書いたしょうかい文》を参考にしているのに、図書館のことを文章に書いている児童が多かった。何について書くのか、テーマを理解していない。問題文をよく読むことを指導していく。
4年	国語	作文以外の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・④は、「使う人のことを考えた工夫」に関係した回答ではなく、メモをそのまま写している誤答が目立った。「りよう者の数は、」の書き出しだけで判断してしまい、「1日100～150人・・・」と書いてしまったことが誤答につながったと考えられる。</li> <li>・⑤は、「また、」を入れずに解答している誤答が目立った。一文の認識が弱いからであると考えられる。</li> </ul>
4年	国語	作文の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・⑦は、「・・・のことを考えた工夫」につながる文を書いていない誤答が目立った。「どのような人」かを問われていることに気付かなかったことも誤答につながったと考えられる。</li> <li>・⑨は、「使う人」「お客さん」などの誤答、「お年より」だけといったどちらか一方の解答が目立った。また、「・・・のことを考えたふうがあります。」につながる文になっていない解答も多く見られた。指定されている言葉を意識して解答していないことが考えられる。</li> </ul>
5年	国語	①～⑥	<p>1-①誤答:「物語」95%</p> <p>1-①分析 文中の「ほかの学年と比べて」という言葉に着目できていない。</p> <p>1-④誤答:目標に向かってがんばれた(どんな体験かという言葉を落としている)</p> <p>1-④分析 「読書とはちがう体験はどんなことですか」と問われていることに着目できていない。</p>
5年	国語	作文以外の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①の誤答率が90%と高かった。資料の中から、問われている本の種類の条件を適切に捉える事ができず、各学年の数字だけを見て答えている。</li> <li>・⑤では、文章の中から「ブックトーク」について話している文章に着目できなかつたり、解決策を正しく抜き出したりすることができなかつたり。</li> </ul>
5年	国語	作文の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の制限文字数を80%以上の児童が達成することができた。段落を意識した文章を書くことも身に付いてきている様子が見られる。⑨は、自分の経験などを入れながら自分の意見の根拠を挙げる問題だが、自身の経験と事実をどう結びつけて書いたらよいか分からない文章が多かった。</li> </ul>
5年	国語	問題①	話している内容と表を照らし合わせる際に、1, 2年生の絵本が多いことは読み取れたが、5, 6年生では「物語」とする誤答が多かった。物語の数値が目につきやすく、そこに着目するのみで、3, 4年生の数値まで確認しなかったことが原因と思われる。
5年	国語	問題③	話し合いの様子から記述する問題であるが、問題文をよく読まず、自分の個人的な経験から答えてしまっている児童が多く見られた。
5年	国語	問題1	話し合いの样子の会話文と資料3「好きな本の種類について」を照らし合わせて、当てはまる本の種類を答える問題。空欄の前後の文脈から読み取ることができなかつたりと考えられる。
5年	国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>①本文の内容を読み取り、それにあった資料を選ぶことができない児童がほとんどであった。</li> <li>⑨、⑩、⑪から、自分の考えの理由を適切に表現できないことが明確になった。学習したことを活用し、意見文を書く活動を積極的に取り入れる必要がある。</li> </ul>
5年	国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>①「高学年に多い」という記述だけで物語を選択し、「他の学年に比べて」を見落とした。</li> <li>⑤問題点と解決策をつなげて読み取れていない。</li> <li>⑥340字を超えない児童が6名。</li> <li>⑦段落構成や原稿用紙の使い方の理解が不十分。</li> </ul>
5年	国語		初めて見る文章を、素早く正確に読み取る力が弱い。また、読み取ったことに対しての自分の考えを、決まった文字数で書き表すことができていなかった。
5年	国語		<p>問い1 イ 「物語」と誤答が多い。「他の学年と比べて」という記述から答えを推測できない。</p> <p>問い6 制限時間内に指定された文字数で記述することができない。文字を書いたり、内容を考えたりするのに時間がかかる子が多い。</p>
5年	国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>①ーイ「物語」との解答が多い。5・6年の中で一番多いものを選んでる。問題をよく読み取る力が必要。</li> <li>④「夏目さん」との解答が多い。読書と違う体験というところを読み取れていない。ただ体験というキーワードが入っている理由で夏目さんを選択している。</li> </ul>
5年	国語		①のイの正答「歴史伝記」に対して誤答「物語」が多い。これは、表のデータの読み取り方・考え方の力が不足していると考察できる。
5年	国語		<p>問1の本の種類を答える問題で「絵本」「物語」の組み合わせで解答する誤答が多く、読み取りの甘さが出ている。問6では自分の体験を具体例としてあげることが苦手な子が多く、説得力に欠ける記述が多かった。</p> <p>問い1のイ→誤答:物語 他の学年との比較でなく、単に一番大きい数字を選んでる。資料の読み取りが弱い。</p> <p>問い10→無答 自分の経験や考えを書くことに抵抗があつたり、自信がなかつたりする。</p>
5年	国語		<ul style="list-style-type: none"> <li>①好きな本の種類について5, 6年生で一番多い物語を選ぶ子がかなりの数いた。他の学年や全体を見て判断する力が弱い。</li> <li>⑥資料を読み取り、自分の考えを整理して書くことができない子が多い。文章を組み立てて、書くことに慣れていない。</li> </ul>

5年	国語		①歴史伝記ができていなかった。物語と解答する児童がほとんど。中学年でも物語がほぼ同数であることを見落としている。難しい問題だと考える。 ⑤春山さんの意見に書かれていることは読み取れるが、前半部分の「いろいろな本を用意する」や「貸し出し予約」についての記述がほとんどだった。 ⑥指定された文字数で意見文を書けていない。ほとんどが340字未満。時間が足りない。
5年	国語		・①イを「物語」とする誤答が多い。本の種類別(縦軸)を見て選ぶのではなく、学年別(横軸)を見て、一番多い人数のものを選んでいく。本の種類ごとに比較している点を理解できていない。 ・④では「夏目さん・本を友達に紹介してもらった」とする誤答が多い。人から紹介された本を読んだことを、読書体験以外の体験と誤ってとらえている。また、体験の内容は正しく記述できているのだが、違う人名を答える誤答もある。誰が何を話したのかを読み取れていない。
5年	国語		①資料を読み取って文脈に合う「本の種類」を答える問題。アとイの両方できて正答になるが、イでほとんどが誤答。割合まで考えなければならぬ難しい問題だった。 ⑩(⑥～⑩)まず指定文字数で記述することができない児童が多かった。主張の理由に説得力をもたせる記述ができなかった。
5年	国語		・決められた時間に文章を書ききれない。 ・段落分けができない。 ・具体的な例がない意見文が多い。
5年	国語		④「読書とはちがった体験」を聞かれているのに、「友だちに紹介してもらった」などと、読書に関することを書いている。 ⑥指定された文字数以上の文を書けない。
5年	国語		1ー① イに「物語」と解答している。他学年との比較ではなく、5,6年生の中で多く読まれている本の種類を解答している。 1ー⑩ 340字以上を満たしていない児童が13名いたため。
5年	国語		①物語と誤答 ⑤文章に合うように記述できない。 ⑥340字以上書けない児童が多く、以後の問題が無答扱いになった。
5年	国語		①イを「物語」とする誤答が多い。 ⑦単純に、段落を下げていない回答が多い。まとまりごとに文章構成を行い、文章化することを他教科でも多く行う。 ⑩⑪体験や予想、解決策が曖昧なものが多い。どのように記述すれば自分の体験や予想になるのか、文末表現を学ばせる。
5年	国語		①→「ほかの学年に比べて」を読み落としている。 ④→体験を話している箇所を選んでいくが、「読書とはちがう」を読み落としている。 ⑥→字数に達していない。意見文を書くことに慣れていない。
5年	国語		①イを歴史伝記ではなく、「物語」とした誤答が目立った。5・6年生の中で一番多いので「物語」を選択したのもと思われる。「5・6年生にすぎない人が多い」という問題の記述を受けての調査結果の分析ができていない。 ≪授業改善≫算数やその他の教科等の授業で、最大値や最小値、変化を見るような「グラフを読む」ことだけではなく、課題解決のために「グラフをつかう」「グラフから読み取った情報をもとに考える」授業が必要である。 ②番号を記入すべきところをア～クの記号で答えている誤答が目立った。
5年	国語		表を見る際、5・6年だけを見てしまい、他の学年と比べることをしなかったため、5・6年のなかで一番多いものを選んだ児童が多かった。また、[資料4]の後に関係ある記述がくることに気づいていない児童が多かった。 ○たくさんの情報の中から必要なキーワードや事柄を抜き出す学習を重点的に行う。
5年	国語		① 「他の学年と比べて」という場所に注目せず、単にその学年で多いものを選んでいく。 ⑥～⑩ 作文を決められた時数まで書けない児童が多い。時間がかかりすぎる。
5年	国語		①資料を読み取る力が不足している。 理科や社会において資料を読み取る習慣を付ける。 ⑥～⑩ 半数以上の児童が無答。基準の文字数に達していない。 普段から文を書く習慣をつけていく。
6年	国語	作文以外の問題	・無答率は低い。②の誤答が20%程度であった。資料を見てもわからないことを問われているが、逆の問いと勘違いした児童が多かった。また、問いの意味を理解していても、資料から選択肢の内容を見つけれなかった児童もいた。
6年	国語	作文の問題	・文字数の制限は、8割がクリアできている。⑨の誤答が40%を超えている。資料から、分かることを踏まえた上で考えられることを書く問いである。資料から分かることは、書いているのだが、自分の考えが書けていなかったり、資料から分かることを繰り返し書いている誤答が多かった。
6年	国語	問い1	二つのユニバーサルデザインの意味が読み取れず、誤答が多かった。全体を把握する力が不足している。
6年	国語	問い5	⑧選んだ資料全てについて書かれていなかったり、資料で示されていないことが書かれていたりする。⑩「中」の意見とつながっていないかったり、抽象的な意見になっていたりする。 ○複数の資料を組み合わせで考えたり、自分の意見をまとめたりする学習を授業で行う。たくさんの資料を読み取りながら学習する機会が少ない。

# データ校による分析(国語)

学習指導改善調査28年度

6年	国語	問い1	設備の意味を理解していなかったり、設備の中の具体的な物を考えたりしている。 ○たくさんの資料の中から必要なキーワードや事柄を選択する指導を行う。
6年	国語	問題 1-①②	「設備」だけ誤答が多く「お年寄り」や「学習」と書いていた。3段落で「心」をすぐに見付けられたので、2段落でも似たような文章から「学習」を見付けて書いたと考える。最後の段落までしっかり読み取り、まとめて記述されていることを読み取る力が必要。
6年	国語	問題 2-⑨	資料の説明を書いているだけで、自分の考えを書いていない。資料の内容を「どう思うか、理由は？」などと補足の質問をしたり、考える観点を問うたりしないと、何を書けばよいか分からない児童がいる。日頃の「振り返り」の積み重ねが大事である。
6年	国語		④の選んだ記号については、簡単に答えられたが、資料から「分かること」と「考えること」の区別がつかないため、誤答に至ったと考えられる。事実と意見の区別をしっかりと理解させる必要がある。 ⑥、⑦、⑧、⑨、⑩からは、段落の構成、資料を選び、読み取り、自分の考えを述べる力などが身に付いていない様子が見える。事実や資料から読み取ったことをもとに自分の考えを構築する力を伸ばしていく必要がある。
6年	国語		⑥規定の文字数を満たしていない児童が3名いた。設定された条件を満たす資料を適切に選び、それらを活用しながら書き表す力が弱い。
6年	国語		・④について 正しい文章構成に並べ替えるところを資料の記号を誤って記入している子どもも多かった。 ・⑤について 条件である資料番号の提示が1つしかないために、内容的には自分の意見も書いてあるが⑦～⑧が誤答になる場合が多い。 ・⑥について、中の部分を2つに分けてしまったため、四部構成になった児童が多かった。
6年	国語		⑥の「始め－中(2つ)－終わり」の3部構成で、4段落で書いている。」で、中の2つをつなげて書き、段落をつくらないうえに4段落にならない誤答や、そもそも4つの段落がない誤答がある。段落をつくるのが、どういうことなのか把握していないことが原因であると考察できる。
6年	国語		②→誤答:1 資料ウの選択して考えることや、横棒グラフを正しく読み取ることができなかった。 ⑤ 時間内に指定された文字数の文章を書くことができない児童が多かった。
6年	国語		⑧⑨の記述では、注目する数字や言葉を活用できなかったり、そこから解釈した記述が少なかった。文章の構成理解、論の進め方がまだ不十分である。また、長い文章を書く習慣の定着不足で、時間内に書ききれない児童も多かった。
6年	国語		⑨資料からの事実は書いているが、考えが書かれていないものが多かった。 ⑩中で書いたことをまとめてしまった(具体性に欠いた)解答になっていたものが多かった。
6年	国語		・④選んだ資料の記号を、「資料キ」とする誤答が目立った(問題をよく読まずに回答している・題意をとらえていない)。 ・⑩4段落目を書くスペースがわずかしくなく、中1・中2とつなげるだけの文字スペースがない(書く前の構成メモで文字数配分ができていない)。
6年	国語		・丁寧にメモを取りすぎて、時間内に書ききれない。 ・改行や段落分けの間違が多い。
6年	国語		①階段、駐車場等の具体的な事例を答えている。 ⑤作文が無回答又は時数が規定に達しない。
6年	国語		誤答に傾向はなく、ばらけている。共通して③についても誤答である。細かい読み取りができていない。
6年	国語		問題番号② 誤答が多かった解答③ 多くの資料から問われている資料を読み取ることはできるが、逆に無い資料を探すことができない。 問題番号③ 日かげがない→どのように困っているか記述してしまう 日かげがない→ユニバーサルデザイン化について記述してしまう
6年	国語		⑦、⑧量や段落はできているが、資料を用いながら説明できていない。国語だけでなく、他教科でも資料を基に説明する学習を重視する。
6年	国語		②→資料と違うものを選べない。消去法など使い選択する。 ⑦→資料○にあるようにという書き方に慣れる。引用するときに「」を使うことに慣れさせる。 ⑧→自分の思いが勝って、資料から読み取れることが書かれていない。

# データ校による分析(国語)

学習指導改善調査28年度

6年	国語	<p>④発言の内容を、記号、事実、意見の順序に並べ替える問題。事実と意見が逆になっている誤答が目立った。文を読んで事実と考えの区別ができないことが原因。《授業改善》「～思います。」「～と考えました。」など語尾に注目させながらその違いを指導する。</p> <p>⑥発言の内容を、記号、事実、意見の順序に並べ替える問題。条件指定では、表で中1に「市にお願いすること」中2に「自分たちにできるユニバーサルデザイン」としているが、「市にお願いすること」のみで中のまとまりを構成してしまっている。</p> <p>⑩「中」のまとまりで述べた理由とつなげて、「終わり」に意見を書く問題。中1・中2両方とつなげられず、どちらか一方とだけつなげて意見をまとめている誤答が目立った。《授業改善》条件を指定して書くこと増やす。「～たり～たり」をつかって、2つをつなげて書く書き方を指導する。</p>
6年	国語	<p>⑤以降の問題で誤答・無答が多かった。構成メモには書き込んであるのに、それを原稿用紙に書き写すのが間に合わなかったようだ。</p>
6年	国語	<p>③文章から必要な情報を読み取る力が弱い。</p> <p>⑤一定の文章量を書けない。</p> <p>⑦⑧⑨資料を活用したり読み取ったりして自分の考えを書く力が弱い。</p> <p>新聞などを活用し、資料の数値や文章の引用をしながら自分の意見を書く力をつける。</p>
6年	国語	<p>1-④誤答:「選んだ資料番号」を解答(正答率74%)</p> <p>1-④分析 「選んだ資料について述べている文章」を選択する問題で、何を問われているのかをしっかりと把握できていない。</p>
6年	国語	<p>②、資料には「車いす利用者やお年寄り」も記載されているのに、文の最後「ベビーカーを利用している人」だけに着目して解答している。資料全体をよく読んで読み取る指導が必要である。</p> <p>④、資料と本文を結び付けることができない児童が多い。文章構成の学習が必要である。</p>

# データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

学年	教科	問題	多く見られた誤答と分析
4年	算数	問題1	①、②では「はるなさんの考えた方ほう」を理解し、式で表現できない児童が多く見られた。図をもとに考える活動に力を入れる必要がある。⑩では、②の部分の計算が $25 \times 80$ の積が2000になり、くり上がりが2回あること十の位、百の位、千の位などの言葉を使って、表現できなかった。
4年	算数	問題1	⑩筆算での位取りができない。
4年	算数	問題1	位ごとに計算する意味がよく分かっておらず、100の位など、適当に回答してしまう児童が見られた。
4年	算数	問題1	・位の言葉(〇の位)を使う経験不足のため説明が不十分であった。問題をよく読んでいない面も見られた。
4年	算数	問題1	①②乗数を十の位と一の位に分割できていない。具体物やモデル図を用いての操作活動を繰り返し行う必要がある。 ⑧⑩筆算の解法を言葉で筋道立てて説明できていない。言語活動の充実を図る必要がある。
4年	算数	問題1	⑩のまちがっている理由を、言葉で的確に説明できない。算数で習った言葉を使って説明したり文章で表したりする経験が不足していると考察できる。
4年	算数	問題1	⑩「位」という表現が使われていず、どの部分のことを言っているのかわかりにくくなっていた。誤答例「繰り上がりの数が間違っている」、「0が一つ足りない」「書く位を間違えている」など説明不足のもの。 ⑪計算ミス(足し算、掛け算)が多い。
4年	算数	問題1	1-⑩ ・問題に「ひっ算の仕方をもとにして」の文の意味のとらえ違いをしていた。理由ではなく計算の仕方を書く子が多かった。
4年	算数	問題1	④問題をしっかり読んでいない。12を6と6に分けている誤答がほとんど。 ⑩理由が説明できない。
4年	算数	問題1	・①～③において、「はるなさんの考えた図」から立式できていない。図から意味を理解し、解法を考えて式に表す力が弱い。 ・⑩「まちがっている理由」の誤答では、「千の位」「百の位」の位に着目した記述が少なく、「位」を意識して筆算をしていないことが考えられる。
4年	算数	問題1	⑩1ページにある筆算の仕方をもとにして計算していない。または、できない。位取りの説明ができず、筆算の数字の操作だけになっている誤答が多かった。
4年	算数	問題1	・①②④は、図をよく見ずに6と6に分けて考えた誤答が目立った。 ・⑧は、筆算の仕方を見て23と答えてしまったと考えられる。 ・⑩は、作文力がそのまま誤答につながったと考えられる。 ・⑪は、 $8 \times 5$ の繰り上がりの4を $25 \times 3$ の百の位の数と見間違えたために、2475と答える誤答が目立った。
4年	算数	問題1	⑥に多い誤答一、⑦に多い誤答十。23という見た目に惑わされ、位取りがしっかりと理解されていない。 ⑩は、間違っていることは分かっても、それを順を追って、正しく説明することができない。
4年	算数	問題1	⑩⑪2けた同士のかけ算の筆算のやり方が正確に身につけていない。まちがっている理由についても、百の位、千の位など、大事なキーワードが抜けていた。
4年	算数	問題1	⑩誤答 $2 \times 8 = 16$ なのに2とかいている。 ・1ページ目のひっ算に仕方をもとにして書くように指示してあるのに、当てはめて書くことができない。
4年	算数	問題1	⑩位がずれている、書き出しが間違っているなどの記述はあるが、正答例の「千の位に2」という記述が少ない。
4年	算数	問題1	⑩→間違っている箇所は、ほぼ全員指摘できているが、どうして間違っているのかうまく説明を書くことができない。
4年	算数	問題1	25×83の誤答の理由を記述する問題での誤答。「答えを書く位が間違っている」ということが具体的に書かれていなければ誤答になる設問。問題用紙の前頁を参考にしながら表現を考えればよいが、「ここがちがって」というように、適切な算数の言葉を使用できない。 《改善策》子どもの稚拙な説明を、算数用語使った説明に置き換えてあげたり、置き換えた後子どもに使わせる。算数用語を使用して説明を記述させる学習活動を行う。
4年	算数	問題1	④かける数、かけられる数がどちらの数字のことを示しているのかわかっていない。 ⑩間違っている根拠を、位という言葉を使って説明できていない。 ○基本的事項、算数用語が定着していなかったので定期的に繰り返し指導を行う必要がある。
4年	算数	問題1	1-⑩ ⑨ができていのに、それを文で表現することができない。順序よく説明する練習を取り入れていく必要がある。
4年	算数	問題1	1-② 図の線に気づかずに、自分で考え分けている。 1-⑧ 筆算の「23」をそのまま書いている。 1-⑩ 位と「2」を書く位置を結びつけて書けていない。

# データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

4年	算数	問題1	⑩分析 筆算の間違っている部分は分かっているが、理由を的確に書いていない。特に、千の位に2を書くことができていない。例文を使おうと試みているが、正しく書けていない。
4年	算数	問題1	1-⑩ $5 \times 8 = 40$ なのに、20と書いている。(計算間違いの指摘) ・位のズレは指摘しているが、十の位に0があることを間違いの理由にしている。 ・実際に計算すればできるが、位のズレを説明することができていないことが理由としてあげられる。
4年	算数	問題2	④では、挿絵の内容を読み取り、問題場面を把握できずに立式に至らなかったと考えられる。
4年	算数	問題2	①<たての長さ>立式ができない。
4年	算数	問題2	問題で聞かれていることがよく理解できず、適当な数値で解答欄を埋めてしまう児童が見られた。具体的な数値を入れずに文章のみで説明してしまう回答があった。
4年	算数	問題2	縦と横の位置が分からないまま問題を解いてしまう傾向が見られた。ボールの直径＝縦や横の長さであることが把握できていない。
4年	算数	問題2	③球体の直径＝高さが理解できていない。具体物による操作活動と具体物を図に描き表す活動を行う必要がある。 ⑤図の様子を言葉で説明することができていない。言語活動の充実を図る必要がある。 ⑦理由を筋道立てて説明できていない。言語活動の充実を図る必要がある。
4年	算数	問題2	④の説明の□の中に、数字を入れる問題「たての長さは、ボールの直径のたての長さは、ボールの直径の□つ分と同じだから」に、横に並んでいる3という数字を入れる誤答が多い。図形と文章を関連付けて回答する経験が少ないこと、そのため誤答が多発すると考察できる。
4年	算数	問題2	④縦と高さを混同して説明していた。図の確認不足。説明を読み、それに合わせた表現ができない。 ⑦直径を間違えて認識している児童が多い。6cmではなく、4cm、5cmで計算している。また、掛け算自体のミスも多い。6×4=22(あるいは20)のような。
4年	算数	問題2	2-④ ・図の「高さ」を「たて」と間違っている子が多く、図の見方と説明の文を結び付けて考えることをしていなかった。
4年	算数	問題2	④たて、よこ、高さの概念の定着が弱い。
4年	算数	問題2	・③では「 $6 \times 3$ 」という誤答が多く見られた。また、「 $3 + 3$ 」や「 $3 \times 2$ 」と、半径で考える児童もいた。考え方としては、正解としてもいいのではないかと思った。「高さ」がどこなのか理解できていないことが誤答につながったと考えられる。 ・④では「たて(奥行)」を「3つ分」との誤答が多かった。③と同様、「たて」を理解していないことが考えられる。 ・⑦では「1つ6cmだから3つ入ると2cm余る」、「3個で18cm、1つ足したら24cmだから」というものも見られた。
4年	算数	問題2	④高さ縦を間違っている。図の中にある縦の表記を見落としている。
4年	算数	問題2	・①③は、直径6cmのボールが1つ分というかけ算の考えができず、立式での誤答が目立った。 ・④は、たてという言葉で図を見た際の縦(実際には高さ)の部分求めてしまったために、3つ分として考えた誤答が目立った。 ・⑦は、問題1の⑩と同様に、作文力がそのまま誤答につながったと考えられる。
4年	算数	問題2	④誤答「3つ分と同じだから、 $6 \times 3 = 18$ で、18cmです。」・・・「たて」という言葉に惑わされ、正面に向いている面の「縦」、つまりこの場合の「高さ」を計算してしまっている。
4年	算数	問題2	2-① 式を立てなくても6cmと分かっているので、「 $18 - 12 = 6$ 」「 $6 + 0 = 6$ 」などと、無理に立式している。6cmが1つとは考えていない。 2-③ (2-①に同じ) 2-④ 縦を2つと数えないで、3つにしている。図の縦方向の認識を間違っているのではないか。
4年	算数	問題2	④段ボールのたての長さをボールの2つ分ととらえられなかった。⑤横の長さ縦の長さはどちらもボールの3つ分であるのに、それを合わせて6つ分と解答していた。問題場面が正確に把握できていない。
4年	算数	問題2	④誤答 縦の長さは直径の3つ分だから $6 \times 3 = 18$ ・縦の長さは、ボール2つ分なのに、図をよく見ていないから3つ分と考えた児童が多かった。
4年	算数	問題2	④最初の縦の長さを3つ分、6つ分などとする誤答が多い。高さ勘違いしたり、右の面に入るボールの数を答えたりしている。
4年	算数	問題2	④・⑤→図と説明の文章が結びついてなく、ボールの数がどこに、いくつ並べられているか捉えられていない。
4年	算数	問題2	⑤図をもとに説明する力が弱い。 ⑦言葉と式の両方を使って説明することができていない。 算数で用いる図の描き方、説明の順序、説明で使う算数用語などの定着が不十分であった。基本的内容を繰り返し指導することで定着を図り、思考過程を筋道立てて説明できる力をさらに身に付けさせる必要がある。

# データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

4年	算数	問題2	2-④ 図の説明をきちんと見ていない。問題の意味をきちんと把握することなく答えを出している。読解力の不足も理由として考えられる。文章以外の資料にも注目するよう指導する。
4年	算数	問題2	2-①、③、④ 図と式を関係づけることができない。 図をしっかりと見ていない。
4年	算数	問題2	④分析 縦にボールが2つ並ぶことがとらえられず、 $6 \times 2 = 12$ という式が書けていない。
4年	算数	問題2	2-④ボールの直径の3つ分と同じだから、 $6 \times 3 = 18$ で、18cm。 ・縦と高さの勘違いにより、高さのボール3つ分と考え、 $6 \times 3$ として計算してしまったことが理由としてあげられる。立体図形の名称・見方の確認の必要有り。
5年	算数	問題1-③ ④	1問目のたし算の式をそのまま引き算に変えた誤答が見られた。問題文の状況を図に表す、また図を言葉の式や数字の式に変えることに習熟していないことが原因と考えられる。
5年	算数	問題2-⑨	3つの正方形の面積の式を考えることはできていたが、途中の計算を間違えたために誤答になっているものが見られた。
5年	算数	問題1	⑥、⑦、⑧では、図Bを使って帯分数の減法(くり下がりがり)を説明する問題であるが、十分に説明ができない様子が見られた。算数の教科書にも計算の方法を考える活動が示されている。そうした活動を生かし、筋道立てて自分の考えを述べる学習活動に力を入れる必要がある。
5年	算数	問題1	③自分が計算しているものを言葉で説明できない。
5年	算数	問題1	面積を求めるための言葉の式の誤答が多かった。分数の計算を立式することはできていたが、それを言葉で説明する時に、整数の1を分数部分に移動するという表現が書けない誤答が多く見られた。
5年	算数	問題1	③の立式ができない。図Aを見て立式している。(3日目に田植えをする面積は、全体の面積から2日間で終えた分の面積を引けば出せるという考えに及んでいない。)
5年	算数	問題1	1-③言葉の式にできない。「田んぼ全体の面積」を「田んぼの面積」と書いたり、「合計-面積」と書いたりするなど大事なキーワードが抜けてしまう誤答が目立つ。 1-⑦⑧繰り下がりのある帯分数の引き算の仕方を理解していないので説明が書けないという誤答が目立つ。
5年	算数	問題1	⑦の「ひくことはできません。そこで次のように考えます。」の理由として、帯分数の整数部分から1繰り下げることを説明できない誤答が多い。また、計算の仕方を数字と文章を混ぜて書き表す力が不足かつ経験が不足していると考えられる。
5年	算数	問題1	問1(2)④ 繰り下げる前に、整数同士を計算する傾向があった。 説明の語彙が算数的な言葉になっていなかった。→問題は把握しているが、算数的な表現力が不十分。
5年	算数	問題1	⑥⑦説明することができず、誤答や無答が多い。整数部分の意味の理解が正しくできておらず、1繰り下げて計算することが説明できていなかった。
5年	算数	問題1	③言葉の式が書けない。「1日目に植えた面積-2日目に植えた面積」が多い誤答。 ⑤整数部分を塗っていない。 $2 \cdot 3 / 5 - 1 \cdot 1 / 5$ の誤答もあった。 ⑦具体的な式を使って説明できない。言葉だけで説明すると考えているか、問題文をよく読んでいない。
5年	算数	問題1	・③では、問題場面を正しく把握できていない誤答が多い。問題文に立ち返らず、先の問題で取り上げられた1日目と2日目の面積のみに注目し、その差を求めている。そのため、③以降の問題全てが誤答になっている。
5年	算数	問題1	(2)④では、帯分数の1と5分の1の1がイコール5分の5であることを理解できていないことが分かる。
5年	算数	問題1	・1-⑥、⑦ 5分の1と5分の4を入れ替えてけいさんすればよいという誤答があった。計算のきまりで、かけ算の交換法則を習ったので、それと混同していると考えられる。 ・文章で、自分の考えを整理して伝える力に弱さが見られる。
5年	算数	問題1	(2)①(田んぼの面積)-(1日目と2日目)など、正確な言葉で表せない。 ④仮分数にする。 $1 \cdot 1 / 5 - 4 / 5$ で計算する。
5年	算数	問題1	⑥順序立てて説明することができない。
5年	算数	問題1	1-⑦ $1 \frac{1}{5}$ を $4 \frac{6}{5}$ に変換する時のミス
5年	算数	問題1	⑥まゆみさんの文章をよく読まずに、けんたさんのやり方で考えている。
5年	算数	問題1	⑥分数部分を逆に引く。手順通りに、指示通りに記述して説明する力。 ⑦式としての説明がない。安心せずに、求められていることに最後まで答える力。

# データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

5年	算数	問題1	③1日目+2日目+3日目=全体 が分からず、3日目を求めることができなかった。言葉の式を作ったり、分からないことを□として□を使った式に表したりして考えていく学習を習慣づけたい。 ⑥多くの児童が帯分数の整数部分も全て仮分数に直して計算する習慣が付いていて、整数部分と分数部分に分けて計算することが理解できていない。1を分数に変換して考えることのやりやすさを伝えられるように指導していく。
5年	算数	問題1	③ 3日目に植えた面積を求める式を、言葉で表現する問題。「1日目に植えた面積-2日目に植えた面積」という誤答が多かった。数を使って式にすることに慣れているが、式の意味をとらえて立式していないことが原因であると考えられる。《授業改善》式の意味を言葉で表現させる活動、数の式だけでなく言葉の式で表現させる活動を取り入れる。 ⑥帯分数同士のひき算の方法を、図と対応させながら説明する問題。「はしたの分数のひき算が『小さい分数-大きい分数』でできないので、整数から1借りてくる」という記述が欠落している。
5年	算数	問題1	(2)①の3日間を求める式が分からないと、その後の問題が①をもとにしないと解けないものなので、結果的に誤答や無答になっていた。
5年	算数	問題1	1-⑥、1-⑦ 1-⑧ができていても関わらず、どう考えたかが答えられていない。どう表現してよいか分からない児童が多い。説明を言葉とともに文章で表す指導を取り入れる。
5年	算数	問題1	③言葉の式を、適切な言葉を用いて説明することができない。 問題内容の把握ができていない。 ⑥⑦分数の減法の計算はできるが、整数から分数へ繰り下げることを説明できない。  自分の解き方や考えをノートに文章で書き、言語化する活動を授業に取り入れる。
5年	算数	問題1	1-⑥、1-⑦誤答 (帯分数)-(帯分数)の問題で、分数同士が引けない時の計算方法を言葉や図を使って説明できていない。
5年	算数	問題1	1-⑥、1-⑦計算はできるが説明が苦手。全体発表やペアでの発表など考え方を交流し合う場面を継続して行っていく必要がある。
5年	算数	問題2	オの正方形の一边の長さは分かっているが、それを使って立式できない様子が見られる。問題の意味を把握していない児童も見られたが、問題の場面を把握し、それにあった式を立てる力が不足していると考えられる。
5年	算数	問題2	⑨単純な計算ミス。 オの1辺の長さが求められない。
5年	算数	問題2	複合図形の面積を求める際に、式は正しいが、計算間違いで答えを間違えてしまう誤答が多かった。
5年	算数	問題2	誤答に同様の傾向は特に無し。
5年	算数	問題2	2-⑨ 立式はできているが、計算ミス。11×11=111とする誤答が多い。基礎計算力の習熟を図る必要がある。
5年	算数	問題2	⑨の「3つの正方形の面積を合計し、答えを求めましょう。」に対して、全ての辺の長さが一緒という性質を利用できずに正しい面積が求められない誤答が多い。図形の性質を正しく書き表す力が不足していると考えられる。
5年	算数	問題2	問2②の説明では、問われている(長さ)に加え、面積の求め方まで記述しており、問いと対応していない場合が見られた。③式はできていたが、計算ミスが見られた。→解いた後の、確認があるとよい。
5年	算数	問題2	⑧正方形の面積を求める説明を書いている。(2)全体の問題としては面積を求めるので、そこにとらわれすぎて、③の問題で何について説明をするのか問題を正しく読み取っていない。
5年	算数	問題2	⑨無答が多い。それぞれの正方形を求めているが、3つの和を求めている。
5年	算数	問題2	・⑨の誤答は、正しく立式はできているが、11×11=111(正しくは121)と計算間違いをしている。筆算の中でたし算(1+1=2)をすところなのに、かけ算(1×1=1)をしてしまっている。
5年	算数	問題2	(2)④の計算の中で、『11×11』が出てくるが、この計算を正しくできない児童が多かった。
5年	算数	問題2	・2-⑧ 一边の長さを求め方を説明するという問いであるが、面積を求める誤答がたくさんあった。設問をしっかりと読んでいないことが原因だと考えられる。
5年	算数	問題2	⑨11×11=111と計算し、合計も211となっている。 間違っている子に限って筆算をした形跡がない。
5年	算数	問題2	2-⑨ 計算ミス、オの面積だけを求めている、1辺×1辺をしていない。
5年	算数	問題2	2-①5×□で式を書いている。 2-⑨11×11=111と誤答したため、211と誤答した。
5年	算数	問題2	⑧辺の長さではなく、面積まで求めている。 ⑨一辺×2で計算、3つの面積をかける、周りの長さ、計算ミス、無答等で誤答の傾向はない。

# データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

5年	算数	問題2	⑧一辺の長さを求める問題なのに、図をもとにすると一辺の長さがすぐに求められ、問題文を十分読み取れていない児童が面積まで求めてしまったと考えられる。
5年	算数	問題2	⑨3つの正方形を組み合わせた図形の面積を求める問題。1辺の長さを間違えて求めた結果、誤答となっている。ワークテスト等のレベルでは、複数の手順を必要とする問題が少なく、一つの式で求められることに慣れている。いくつかの手順を組み合わせて解決していくこと、論理的な思考力に課題がある。《授業改善》複数の手順を組み合わせて解決する問題を使用した授業を行う。
5年	算数	問題2	(2)④整数部分から1を分数部分に移すという考え方を思いつかない子、思いついたが説明不足でいきなり4と6/5と書いている子がいた。 ○課題解決の仕方を説明するための順序も指導する。(内容と共に)
5年	算数	問題2	2-⑨ 計算ミスが多い。11×11ができていない。繰り返し計算練習に取り組ませる。
5年	算数	問題2	①正方形の面積を求める公式の意味が理解できておらず、1辺×辺の数で解いている。 公式の意味を確認し、公式を利用した求積問題を練習させる。
5年	算数	問題2	2-①誤答:5×4 2-①分析 一辺が5cmの正方形の面積を、周囲の長さを求める問題や図に示してある辺の長さをかけて面積を求めるといったように、問題の意図を理解していない。
5年	算数	問題2	2-⑨複合図形の縦と横の長さを求めるのが難しかったようだ。正方形は辺の長さがすべて同じことに気付くことができれば簡単だが、気付けない児童が多く見られた。図形の特徴を確実に押さえ、応用する学習にも取り組む。
6年	算数	問題2すべて	「○%引き」の値段を求めることが、身に付いていない。 7000×0.2,7000×20,7000÷0.2,7000-0.2と、計算結果を見ても、間違いだと気付かない。生活の中にある割合の問題を解いて、実際の量感を伴いながら定着させていく必要がある。
6年	算数	問題1	⑧表現のヒントとなる文(ゆうせいさんの説明)を生かして立式までできていたが、計算の間違えが多く見られた。
6年	算数	問題1	②数直線で表された2量の比例関係が理解できていない。
6年	算数	問題1	例の説明をモデルとして単位量当たりの大きさを求める方法を説明することはできるが、そのあとの小数の計算でミスが目立った。概算でおよその大きさの見当をつける力をつけたい。
6年	算数	問題1	・かけ算で立式している。1Lあたり、1mあたりということが理解できていなかった。 ・⑤の回答に無答が多かった。解答欄の四角がなかったため、解答を書かなくてよいと児童が判断したためと考える。
6年	算数	問題1	⑤の「答えは m <sup>2</sup> です。」の誤答率30.6%,無答率11.1%であった。特に無答率が高かったのは、□がここの問題だけ無かったことが大きな要因だと考察できる。
6年	算数	問題1	⑥→誤答: ?をxとしている 問題文をよく読まず、6年生で学習した「分からない数はxと置く」ことを使ってしまった。 ⑨→誤答:イ 問題文の意味を理解せず、出てきた数の順に式を立ててしまった。
6年	算数	問題1	⑦⑧の記述では、元にする説明文を利用した求め方ができなかつたり、元の説明文の言葉を用いたため間違える児童が多かった。
6年	算数	問題1	⑧4.8÷1.5の計算ミス。
6年	算数	問題1	・1-⑥の「?」と記述すべきところを、「□」・「x」と記述した子が多かった。 ・1-⑦独自の説明をしている、単位をm <sup>2</sup> としている、説明が一部抜けている誤答があった。
6年	算数	問題1	・⑦⑧誤答率が約25%である。(1)の【ゆうせいさんの説明】をもとにして、線分図を使って立式できていけばよいのであるが、求め方を同じように記述できない児童が目立った。⑦よりも⑧の方が誤答率が低いことから、計算はできているが、解き方を分かりやすく説明することに苦手意識をもつ児童が多いことが改めて分かった。
6年	算数	問題1	⑤無答 ⑦、⑧順を追って説明したり、正しい言葉でわかりやすく説明したりすることができない。
6年	算数	問題1	1-⑧において、小数のわり算のミスが目立った。特に小数点の位置による誤答が見られた。
6年	算数	問題1	⑤→四角囲みがなかったので、回答の必要がないと考えた児童が多かった。見直し、声かけが必要。 ⑥→「小数÷小数」の計算で、小数点の打ち忘れ、打ち間違いがあった。小数点を動かす意味、筆算の書き方などを確認し、演習を積み、慣れさせる。
6年	算数	問題1	⑧鉄の棒1mあたりの重さを求め、求め方を説明する問題。 □×1.5=4.8まではできているが、ここからわり算の式がつかれず、4.8×1.5にしている。かけ算の式からわり算の式をつくることを納得して理解していないことが原因だと考えられる。
6年	算数	問題1	1-⑤ 式はあっているが小数点の付け忘れがある。また、解答を書く□がなかったため、無答があった。 ○ノートを丁寧に書く、最後までやり遂げるなどの日常的な指導が必要

# データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

6年	算数	問題1	④1Lあたり何㎡ぬれるか求める立式ができない。そのため、⑤の答えも正しく求められない。 ④で正しく立式できないため、⑦⑧も論理的に説明することができない。 単位あたりの学習を復習し、何を「1」にするのか、立式の方法を確認する。
6年	算数	問題1	1-⑤誤答:「 $2.4 \div 1.5$ 」の解答が「16」「0.16」(正答率86%) 1-⑤分析 小数の計算の小数点の打ち方が定着していない。
6年	算数	問題1	2-①において、70000の30%の値を $70000 \div 0.3$ で求める誤答が多かった。30%という値から70000よりも小さい値になるという事はイメージできているようだが、わり算をすると値が小さくなるという素朴概念に引っ張られ、立式の間違いが起きていると考えられる。
6年	算数	問題2	④、⑤、⑥では、20%の値段をさらに10%するということが理解できない様子が見られた。ヒントとなる図も出ていたが読み取ることができなかったようだ。そのため立式ができず、商を求めるまでには至らなかった。図を基に考える家庭を大切にしていく必要がある。
6年	算数	問題2	⑧20%引きの、さらに10%引きの基準量が正しく理解されていない。
6年	算数	問題2	70000円という大きな数の割合に不慣れで、位がずれた誤答が目立った。答えを見積もる力が不足している。
6年	算数	問題2	もとにする量÷百分率と立式にしている誤答が多かった。答えがもとに定価から引くので、もとにする量×百分率と答える子もいた。もとにする量、くらべられる量、割合の関係を理解していないからであると思われる。
6年	算数	問題2	2-④ $70000 \div 20$ や $70000 \div 0.2$ などと計算している児童が多い。単純な計算ミスをしている児童もいた。2-⑤、2-⑥は、2-④の解答をもとに解いていくため、正答は低い。
6年	算数	問題2	⑥の「A店とB店のどちらの店の方が何円安く買うことができるか」の問題の誤答が多かった。B店の定価の20%引きで、タイムセール時間に買うと、20%引きの値段からさらに10%引きになるという意味を正確に把握できないため、正しく計算できないと考察できる。
6年	算数	問題2	⑤→誤答:無答または計算間違い56000=5600の計算間違いが多かった。 ⑥→誤答:無答または計算間違い50400=49000の計算間違いが多かった。
6年	算数	問題2	全体的に割合の理解が弱い。%を用いた計算の式が立てられない児童、基準量と比較量を用いた立式が正しく出来ない児童が多い。数直線を見て、数の大小をとらえたりすることが必要である。
6年	算数	問題2	⑤20%引きの金額は求めているが、そこからの10%引きを求めている。よって⑥もそれと同様。20%引きからさらに10%引きの意味が分からなかったのではないか。
6年	算数	問題2	・2-④式の記述がないなど、不完全なものが多い。 ・2-⑤計算ミスが多い。
6年	算数	問題2	・⑤⑥の誤答率、無答率がともに高い。定価の20%引きの値段のさらに10%引きの代金を求める問題であるが、描かれている線分図が正しく読み取れていないことが考えられる。また、解き方の説明の書き出しに記述されている言葉にうまくつなげられない児童も見られた。
6年	算数	問題2	(1) $70000 \times 30$ , $70000 \div 30$ , $70000 \times (1 - 0.3)$ $70000 - 0.3$ (2) $70000 \times 0.2$ で終わっている。 $70000 - 0.2$ $70000 - 20$
6年	算数	問題2	⑤、⑥計算間違いや数字の取り違いによる間違い。計算間違いをしている子に筆算をしていない子が多い。
6年	算数	問題2	2-⑤の立式においての誤答が多い。基にする量×割合の式で、割合の部分に百分率を割合に直す式を書いていたのだが、 $70000 \div 100 \times 20$ と書いていた。式の順序が間違っていた。2-①にも同様のことがいえる。
6年	算数	問題2	問題番号③ 70000の30%について立式できず加えて計算ミス 問題番号④ 70000の20%について立式できず加えて計算ミス 問題番号⑤ さらに10% 何の10%か理解できない ③④⑤を間違えるので必然的に⑥も間違える
6年	算数	問題2	2-⑥前の問題での考え方は合っているが、計算ミスまたは転記ミスが多い。
6年	算数	問題2	④⑤⑥→前述の内容を生かして別な場面の状況を説明する経験が少ない。結果として、文章や式で説明することが出来ない。普段の授業から、類題の説明をするような練習が必要。
6年	算数	問題2	⑤どちらの店が安く買うことができるのかを求めて、求め方を説明する問題。70000円の20%引きから、さらに10%引きするところを、70000円から10%引きしている誤答が目立った。 《授業改善》割合は、買い物場面で日常的に児童もよく見ている。だからこそ、実際の生活場面に活用していく授業を行う。授業の中で多様な割引の場面を扱いながら、もとにする量をその都度理由とともに確認していく。

## データ校による分析(算数)

学習指導改善調査28年度

6年	算数	問題2	70000円の30%引きを $70000 \div 0.3$ と解答 70000円の20%引きを $70000 \div 0.2$ または $70000 - 20$ と解答 ○割合は最難単元である。対応数直線や面積図などで解法を身に付ける指導を行う。
6年	算数	問題2	2-④、⑤、⑥ 割合の学習が定着していない。
6年	算数	問題2	全体的に割合や百分率について復習する。特に今回のような割引の問題も苦手なので、割引問題も復習する。
6年	算数	問題2	2-⑤⑥分析(正答率65%) 「20%が引かれている値段」から10%を引かなければいけないところを、定価の30%引きと同様に考えている。割引のもとになる金額が、捉えられていない。
6年	算数	問題2	2-④において、2-①同様70000の20%の値を $70000 \div 20$ で求める誤答が多かった。また、2-①の正答者の内2名は、さらに10%引きを $70000 \times 0.2 = 14000$ 、 $14000 \times 0.1 = 1400$ この1400を使って計算し間違えていた。数直線が大きなヒントとなっているが、その読み取りが上手くできなかったことも誤答の原因の1つと考えられる。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

学年	教科	問題	多く見られた誤答と分析
4年	理科	1-⑤	プロペラを回した回数と車が走った距離の関係を理解し、筋道立てて説明する力が課題である。実際にプロペラカーを使ってたつぷりと実験することで実感をもたせたり、グラフと図を関連付けたりしながら予想する力を高める。また、具体的な数値をもとに、回転数と走行距離について考えることができるような学習課題を設定していく。
4年	理科	2-⑥	「植物のからだのつくり」について、正しく説明する力が不足している。そこで、大切な言葉(キーワード)を基にして、繰り返し自分の文章で「まとめ」を書くよう指導したり、理解を確実にしたりすることができるようにする。
4年	理科	問題2-⑥	・「根」「葉」「くき」の3つの言葉のみを選んで答えていない。問いに正対した解答を書けず、カードに書いてある言葉を書いている。 ・問題の内容(植物の体のつくりを問われていること)を捉えていないと思われる。
4年	理科	問題2	③については、観察の技能が十分に身につけていないため正答率が低かった。④は、①を選んだ児童が多くいたため、正答率が低くなった。⑤は、ホウセンカとヒマワリの共通点を三つのキーワードを使って述べる問題であった。正答率が低いことから、科学的な言葉を使って表現する力が十分に身につけていない様子がうかがえた。
4年	理科	問題2	③むしめがねの使い方定着不足。
4年	理科	問題2	2-⑥文章で問われていること(体のつくりを説明する)でなく、成長のしかたを書いて誤答になった子が多い。文章読解力の不足。
4年	理科	問題2	2-③虫めがねの使い方について、虫めがねを動かして焦点を合わせると答えた児童が8割弱いた。実体験が少ないと思われる。
4年	理科	問題2	設問の意味を理解していないようだった。問題が何を問われているか?どんな条件で答えなければならないのかをしっかりと読み取り、考える力の育成が必要である。
4年	理科	問題2	③の虫めがねでたねをはっきり見るために、どのようにすればよいか、どんなやり方でも見ようと思えば見れるのだが、正しいやり方を理解していない。正しいやり方をしっかり指導する必要があると考察できる。
4年	理科	問題2	⑥植物の体のつくりを説明するところ、根・茎・葉の成長について述べている誤答が多かった。問題の意図を読み間違えてしまったこと、「植物の体のつくり」が定着していなかったと考えられる。
4年	理科	問題2	⑥「体のつくり」を説明している児童が少ない。
4年	理科	問題2	・⑤では、共通項を見つけられていない。 ・⑥では、「植物のからだのつくり」を理解していない誤答が多い。
4年	理科	問題2	③「虫めがねを動かす」という誤答が多い。実際に虫めがねを使うとき、どんな対象でも虫めがねを動かして観察していることが多いようだ。対象によって操作方法が変わるということが子どもの実体験にあっていなかったためであると考えられる。
4年	理科	問題2	・2-⑥の問題に誤答が多く見られ正答率が44%だった。根・茎・葉の3つの言葉が入っていなかったり、体のつくりを回答しなければならないところを成長の様子を説明したりしてしまっている。 ・また、絵カードの説明をそのままうつしてしまっている回答も多く見られた。それぞれの成長の様子であれば書けるが、2つのカードを一般化してまとめるのが難しいと考えられる。
4年	理科	問題2	③誤答「たねを乗せた手は動かさないで」「虫めがねを動かして」と逆の答え・・・虫めがねの使い方を正しく理解していない。 ⑤誤答「⑤たねができると、やがて花や葉やくきはかかれていく」を選ぶ・・・「観察カードから」という設問の条件をよく読んでいない。
4年	理科	問題2	2-③ 虫めがねを動かす方を選んでる。種を手の上にのせて、虫めがねの焦点を合わせる経験をあまりしていないのではないかと。
4年	理科	問題2	⑥誤答 茎が太くなり、根も長くなった。 ・3つの言葉を使うことが条件なのに、2つしか使っていなかったり、植物のからだのつくりを説明すると言うことが理解できなかったため。
4年	理科	問題2	③「たねをのせた手」「虫めがね」の逆の回答。動かせるものと動かせないものを明確にした指導。 ⑥成長の様子を記述したものが多く。問題の全体が2つの植物の成長について聞いていることから、「からだのつくり」ではなく、成長の仕方を説明しようとしている。
4年	理科	問題2	③→虫めがねは固定し、対象物を動かして見えやすいところで合わせるがよく理解できていない。 ⑥→「植物のからだのつくり」ではなく、植物の生長の様子について説明を書いている。
4年	理科	問題2	植物の体のつくりを説明する問題。種や花などをつかかって説明している誤答が多かった。「育ち方」を説明している誤答も複数あった。動物であれば「体」という言葉が馴染むが、植物に対して「体」という言葉が馴染みにくいのではないだろうか。 《改善策》「植物の体」と「人や動物の体」を対比させながら体のつくりを押さえるなどして、根・茎・葉を押さえるほかに「植物の体」という言葉も理解させていく。
4年	理科	問題2	⑥問題文に合った答え方ができていない。(からだのつくりを聞かれているのに育ち方を答えてしまっている。) ○テストの答え方を指導する。例:「どんなことですか。」ときかれたら「～こと。」と答える等。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

4年	理科	問題2	2-⑥ 問題1に記述したと同様、問われてることに正対し、条件を踏まえて表現することが苦手である。
4年	理科	問題2	2-③ 手に持ったものを見るときの見方を理解できていない。
4年	理科	問題2	2-⑤誤答:⑤ 2-⑥分析 ひまわりとホウセンカの観察カードから分かることを選ぶ問題で、カードから分かることではなく知識として分かっていることを選んでいる。 2-⑥誤答:根、茎、葉という正しい言葉を選べていない、3つ以上の言葉を選ぶことができていない。 2-⑥分析 記述する条件を意識して記述する経験が必要である。
4年	理科	問題1	④では、棒グラフからプロペラをまいた回数と距離との関係を読み取ることができない児童が多く見られた。⑤については、グラフから読み取った数値を根拠に考えを表現する力が身につけていないため、正答率が18.8%となった。
4年	理科	問題1	⑤<そう考えた理由>が書けない。
4年	理科	問題1	1-④グラフを読み、ふさわしい回数を選ぶことも難しかったが、1-⑤ふさわしい理由を書くことができず誤答になった。
4年	理科	問題1	1-⑤プロペラをまいた数とプロペラカーの走った距離について、実験結果を活用して述べようとしているが、2つの数値を根拠とすることができなかった。
4年	理科	問題1	①プロペラ=ゴムの力だと思い込み、選択肢の文章をよく読まずに線を結んでいた。
4年	理科	問題1	⑤の「そう考えた理由」について書くときに、実験結果から必要な情報を的確に使って書き表すことができない。理科の言葉を適切に使って実験結果を表現する経験が不足していると考察できる。
4年	理科	問題1	④⑤誤答例:「～だと思っから」「真ん中くらいがちょうどいいから」「行き過ぎるとよくないから」など。前出のグラフを参考にしていない。
4年	理科	問題1	⑤6メートル進むための根拠だけ述べていて、上限の12メートルを超えないようにするための根拠を述べていない子が多かった。
4年	理科	問題1	⑤表から推測する力が弱い。
4年	理科	問題1	・⑤の誤答では「12mを超えないようにするための根拠」が述べられていないことが多かった。理由となる根拠を明確にする力が弱い。
4年	理科	問題1	⑤「30回ではとどかない」の記述はあるが「60回以上まくと12mを超えてしまう」の記述がない子どもが多かった。「あと少し巻きたせばいい」という日常生活の感覚で回答したためであると考ええる。
4年	理科	問題1	・1-①に誤答が多く見られた。ゴムが戻ろうとする力であることを理解しているが、上から選択肢を見て「ゴムが戻る」ところだけで回答したことが原因と考えられる。 ・1-⑤に誤答が多く見られ、正答率が31%だった。誤答の内容の多くは、6m以上飛ばすことだけに回答したものである。2つの条件を満たす記述に至っていない。
4年	理科	問題1	②誤答「乾電池に+極と-極があるという性質」・・・図の中に乾電池が描かれてることから、「乾電池」と書かれている選択肢を選んだ。 ⑤適切な説明ができない。
4年	理科	問題1	1-① 「ねじったゴム」ではなく、「まっすぐにのばしたゴム」を選んでいる。 1-④ 「20～25回」を選んでいる。グラフを読み取って、図と照らし合わせて考えることができていない。
4年	理科	問題1	⑤誤答 プロペラを30回まいて5、9分に行くから、20～25回くらいだと思った。 ・グラフと図の両方から、答えを推測し延内児童が多かった。
4年	理科	問題1	④イヤエの誤答 ⑤大きい方、または小さい方の記述しかない。データを基に説明する力を付ける指導が必要。
4年	理科	問題1	⑤→「5点をとるために」という条件を理解していない。グラフの数値から、5点をとるためには30回～60回間の数でプロペラを巻かなければいけないことの習熟が低い。
4年	理科	問題1	6mから12mまでの間に止めるには、何回巻けばよいか、理由とともに答える問題。巻く回数は正答しているが、理由に不足があった。30回より多く巻くということは書かれていても、12m以上にならないようにするためにどうすればよいか述べていない。 《改善策》 普段の授業での言語活動を充実させる。予想を考えるときの根拠の説明、説明を解釈させる活動、不完全な説明を補わせる活動、それらを受けて、説明を記述する活動などを行う。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

4年	理科	問題1	⑤実験結果から分かる数値を活用し、根拠にして説明することができていない。 ○実験結果を考察する場面で、結果から導き出される数値などに着目させる。
4年	理科	問題1	1-④は正答が70%であるのに、1-⑤が正答率30%であった。頭で分かっていることを、表現することが苦手であると考えられる。説明を言葉と文章でさせる必要がある。
4年	理科	問題1	1-④ 巻き数一回に進む距離が求められないため、見当がつけられない。
4年	理科	問題1	1-④分析 5点を取るために、ゴムを何回巻くかを棒グラフのデータから予測する問題で妥当な回数を選ぶことができていない。題意を正しく理解できていない。 1-⑤誤答 選んだ理由を述べる問題で、「30回巻くと5.9mだから」という記述が多く、「60回巻くと12.3mを越えてしまうから」と付け加えることができていない。 1-⑥分析 条件を十分満たす書き方が身に付いていない。
4年	理科	問題1-⑤	・プロペラを巻く回数を、実験結果を活用し、数値を根拠にして説明することができない。 ・提示されている2つの資料を読み取り、その2つを関連付けて結果を予想する力が十分に身に付いていないと思われる。
5年	理科	問題3-①	東西南北の方位の未定着による誤答。日常の学習活動や生活場面において方位を意識するような働き掛けの工夫が必要である。
5年	理科	問題3-④	月の動き方と太陽の動き方が似ていることが分かる記述は見られるものの、「月がしずむ」という記述が見られない誤答が多かった。月がのぼることは理解しているが、太陽と同じように月がしずむということの理解が不十分であると思われる。
5年	理科	問題2	⑥、⑦動物の体の仕組みについての理解が十分でないため、問題中にあるチータやウサギの例から類推して猫のジャンプする仕組みを説明できる児童は少なかった。知識や情報を関連づけて考える力が十分に育っていない。
5年	理科	問題2	⑥後ろ足の筋肉と曲げた背骨の記述が混ざって一緒になっている。
5年	理科	問題2	足の前の筋肉と後ろの筋肉の動きについて逆にとらえる誤答が多かった。ネコが高くジャンプできる理由を指定された言葉以外に自分の言葉を付け加えて書くことができなかった。
5年	理科	問題2	2-⑥⑦では、曲げた背骨についての記述はできても、後ろ足の筋肉についての働きを記述することができなかった。2つのことを整理して考察することができていない。また、自分の考えを正確に文章で表現する力が不足している。
5年	理科	問題2	2-①② 後ろの筋肉と前の筋肉を反対にしている。 2-⑥⑦ 言葉が足りず、言いたいことが伝わらない。
5年	理科	問題2	⑥の「【後ろ足の筋肉】【曲げた背骨】という言葉を使って説明しましょう」という問題に対して、指定された言葉を使わない誤答や、指定された言葉を正確に活用して説明できない誤答が多い。キーワード作文など指定された言葉を正確に活用して文章に書き表す経験が不足していると考察できる。
5年	理科	問題2	③～⑤の動物の体のしくみの特徴については理解している子が多かったが、人がジャンプするときの筋肉の収縮について理解できていない子があった。
5年	理科	問題2	⑥⑦では説明不足の児童が多い。意味がつながらなかつたり、指定された言葉を使ってなかつたりする児童が多い。(1)(2)のことを使えば、正答率が上がると思われる。
5年	理科	問題2	②後ろの筋肉がちちんで、前の筋肉がゆるんで…の誤答が多い。 ⑥⑦後ろ足の筋肉を使ってジャンプ…、曲げたせぼねがとびやすい、という誤答が多い。人と比べてどうかと考えると記述しやすいか。
5年	理科	問題2	・⑦「背骨を使ってジャンプする」としか記述していない誤答が多い。「伸ばす」「バネのように使う」というように、背骨をどのように使うのかまで説明できていない。動物の動きを骨や筋肉と関係付けて説明する経験が少ない。
5年	理科	問題2	(1)ジャンプ時の前や後ろの筋肉の動きについて、イラストもついているが、前の筋肉、後ろの筋肉の意味がよくわかっていない子が多い。 (3)理由を自分なりに言語化することに苦手意識を感じる。言葉が不十分で誤答になっている子も多い。
5年	理科	問題2	・人と動物の体2-⑥の正答率が40%であった。ジャンプの時の体の動きで、後ろ足の筋肉を使っていることが説明できなかった。説明の際、2点から説明することが要求されている。体の動きで見えにくい後ろ足の筋肉の動きが見落とされていた。2点から説明すること、体全体の動きが理解されるよう支援する必要がある。
5年	理科	問題2	⑥、⑦足を曲げたとき、伸ばしたときの筋肉の動きを正しく説明することができない。
5年	理科	問題2	2-⑥、2-⑦ともに説明の言葉が足りない。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

5年	理科	問題2	⑦背骨を曲げて勢をつけるという誤答をしている。伸ばすという表現ができていない。
5年	理科	問題2	⑦後ろ足の筋肉の発達を書けているが、背骨についての詳しい記述が少ない。語彙が少なく、曲げた背骨をどうするかを書けない。「曲げた背骨を使って～」が多い。
5年	理科	問題2	⑥、⑦→猫の後ろ足の筋肉が発達していることや、背骨を伸ばして跳び上がることを知らない児童が多い。特に、単元の学習で背骨の動きに関する学習が不足していたと考えられる。
5年	理科	問題2	⑥図鑑に書いているチーターとネコの記述を基に、ネコが高くジャンプできる理由を説明する問題。後ろ脚を使うことは書いていても、筋肉の発達については触れていない。 《授業改善》体が動く仕組みだけでなく、筋肉の発達の特徴とその動物の運動の特徴を関連させて考える学習を取り入れる。
5年	理科	問題2	「後ろの筋肉が～」という文言を使っていることは分かるが、他に比べて発達しているや、強くけるという記述に至っていない。 〇もっている知識から、必要な言葉を使いながら説明する学習を実験、考察が終わった後に設ける。
5年	理科	問題2	2-⑦ 決められた言葉を使って説明できない。
5年	理科	問題2	①②筋肉のはたらきについて、伸びると縮むを反対に覚えている。筋肉の代わりにゴムなどを使った模型で実験したり、視覚的に理解させる。 ⑥指定されたキーワードは入っているが、きん肉の特徴や背骨の使い方について触れていない。チーターの説明が書いてあるが、ネコの説明に生かせない。
5年	理科	問題2	2-①・②誤答:前のきん肉と後ろのきん肉を逆に答えている。
5年	理科	問題2	①ジャンプをするという設定に合わせた筋肉の動きをイメージすることができなかった。また、図を参考に考えることができなかった。腕だけでなく、脚の筋肉の動きも学習に取り入れる。
5年	理科	問題1-④	並列つなぎになっていないかき方をしている誤答が多く見られた。並列つなぎを忘れてしまっていること、電池をたてにした場合の回路の見方やかき方に習熟していないことが原因と思われる。
5年	理科	問題1	③モーターの回る速さが大きくなると書くなど、適切な言葉を使わずに説明する児童が多かった。
5年	理科	問題1	④並列つなぎの回路図がかけない。記憶に残すことに困難がある。 また、回路図がいくつかあってその中で選択する問題であれば、もう少し正答率が上がったかもしれない。
5年	理科	問題1	乾電池の並列回路を正しく理解していないため、+極と+極、一局と一局をつながない誤答が多かった。
5年	理科	問題1	1-6では、回路図の書き方を正確に理解していない。直列と並列の違いを正確に理解していない。
5年	理科	問題1	1-④ 直列つなぎで書いている児童が誤答全体の半数+と+をつなぐミスが数名いる。
5年	理科	問題1	④の「並列つなぎ」を表す図をかく問題では、直列つなぎを表す誤答が多い。直列と並列の違いを言葉上だけでなく図で正確に理解していないことが考察できる。
5年	理科	問題1	③の電流が強くなると、モータが速くなることが理解できている子は多かった。反面、④の並列回路についての誤答が多かった。
5年	理科	問題1	④の並列つなぎでの誤答が多い。②と同じ直列つなぎを書く児童もいた。
5年	理科	問題1	④並列つなぎにできない。つなぐ実験と記録も一緒に行うといいか。
5年	理科	問題1	・④並列回路を作ることができていない。どう線が足りず回路になっていない誤答がほとんどである。並列回路をつくる経験の不足とともに、回路を図でかき表す経験も足りない。
5年	理科	問題1	直列回路と並列回路について、それぞれのつなぎ方の理解が不十分で誤答が多く見られた。特に並列回路を図に表すことができなかった。
5年	理科	問題1	・電気のはたらき1-④の正答率が31%であった。並列つなぎを問う問題であった。直列、並列つなぎがきちんと理解されていないこと、目に見えない電気の流れが実感として理解されていなかったことが要因と考えられる。直列、並列つなぎを図に書いたり、実際につなげたりして、その違いに気付かせたい。また、電気の流れが確認できるよう支援する必要がある。
5年	理科	問題1	(4)直列つなぎ
5年	理科	問題1	②乾電池2個の直接つなぎが作図できない。・・・回路になっていない、並列つなぎになっている。 ④乾電池2個の並列つなぎが作図できない。・・・回路になっていない。
5年	理科	問題1	③強く速くの順序を逆に書いている。 ④並列つなぎができていない。
5年	理科	問題1	④直列つなぎになっているものや、+と+、-と-を結んでいるものが多い。4年生の時に十分指導したつもりだが、普段使う知識や技能ではないので忘れてしまいます。

5年	理科	問題1	④→並列回路だということは認識しているが、並列回路をかくことができていない。単元の学習の際、「電流を強くする」方法を考えることに重点を置き、並列回路の良さに目を向けた学習が足りていないためと考えられる。
5年	理科	問題1	④並列つなぎの回路をつくる問題。直列つなぎをつくっている誤答、プラス極とプラス極(マイナス極とマイナス極)を一直線につなぎている誤答、ショート回路をつくっている誤答、1個のうち1個だけつないでいる誤答が目立った。並列つなぎについての理解が不十分であることが誤答の要因。 《授業改善》モーター、スイッチ、乾電池2個を様々な配置で固定し、それを使って直列つなぎ、並列つなぎの回路をつくっていく活動を取り入れる。粒で電気、電流のイメージを書かせ、電気が流れるかどうかと合わせて直列、並列つなぎを理解させていく。
5年	理科	問題1	並列の意味が十分に理解できていないため、並列回路を図で表すことができない子が多かった。 ○実験とその結果をまとめる学習を十分にを行い、実験のしっばなしということがないようにする。
5年	理科	問題1	1-②, ④ 直列つなぎ、並列つなぎが理解できていない。児童に実際に実験させることを繰り返し行う。
5年	理科	問題1	④並列つなぎと直列つなぎの違いをよく理解しておらず、図に表すことができない。誤答の多くは1つの回路でつなごうとしている。 実験だけで終わらず、つなぎ方をメモしたり、分かったことをノートにまとめさせたりする。
5年	理科	問題1	1-④誤答 並列つなぎの回路図がかけしていない。
5年	理科	問題1	④並列つなぎの理解不足。学習でよく目にする図は乾電池が横向きになっていることが多く、つなぎ方をうまく表せなかった。つなぎ方を確かめる時間を確保するとともに、図で表す活動にも力を入れる。
5年	理科	問題3	①、③、④月と太陽の動きが同じであることが分かっていたら、月は西に沈むことが分かると思うが、観察記録を書く際、これまで東、南、西と方位を書いていたため①では、記録用紙に北を書けない児童が多く見られた。 ⑥、⑦観察したことから、これからの月の動きを類推し、与えられた言葉を用いて考えを述べることができない児童が多かった。観察をもとに、自分の考えをまとめ力をつけることが必要である。
5年	理科	問題3	④表現力の不足。月の動きがあって、だから沈んでいくというつながりがうまく書けない。
5年	理科	問題3	太陽の動きと月の動きを関連付け、論理的に説明することができないための誤答が多かった。
5年	理科	問題3	3-②では、月の動きと方角の関係についての理解が不十分であった。 3-④では、7時から9時に月が沈むという誤答が多い。7時から9時の月の動きからその後の月の動きを推論できていない。
5年	理科	問題3	3-① 真ん中は南だという思い込みがある。 3-② 書き忘れが多い。 3-③ 太陽と月は反対の動きだととらえている児童が数名いる。 3-④ 推論できず、説明できていない。
5年	理科	問題3	④の「月が見えなくなる理由について、指定された言葉を使って正確に書き表すことができない誤答が多い。キーワード作文など指定された言葉を正確に活用して文章に書き表す経験が不足していると考察できる。
5年	理科	問題3	月は太陽と同じように東からのぼり、西にしずむことを理解できている子が多いのだが、①の問題で方位を入れる問題の誤答が多かった。図の真ん中に「西」を入れることに違和感があったことも原因と考えられる。
5年	理科	問題3	④の説明では、意味が伝わらない表記が多かった。②での無答が多かったが、問題を見落としたと思われる。
5年	理科	問題3	①南に沈む誤答が多い。朝見えたから、南と勘違いしたか。 ③太陽と月の動きは同じという記述がほとんど。 ④沈んでいくと推測する記述がない。
5年	理科	問題3	・①方位磁針の針が指している南や北を中心にして方位を書いた誤答がほとんどである。針を北に合わせる経験・印象が強く、針の指す方向が見えた方向と誤ってとらえている。 ・④月が見えなくなることは分かっているが、今後の月の動きを推論した説明が書けていない。「月は見えなくなる」としか記述していない誤答がほとんどである。
5年	理科	問題3	(3)④月と太陽の動きが似ていることには気付いているが、その後の動きを推論する言葉がないままの子が多く、誤答になるケースが多かった。
5年	理科	問題3	・月と星の3-①の正答率が24%であった。月の動きを東西南北で記述する問題である。太陽の動きと同じに考え、東から西など解答していた。太陽と動きと月の動きを比べながら、理解につなげる必要がある。
5年	理科	問題3	(1)中央を南にしている。
5年	理科	問題3	①、②月の動きを正しく理解していないため、方角や一時間後の月の位置を正しく答えることができない。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

5年	理科	問題3	3-② 「西」ではなく、「南」にしている児童が多い。太陽などの観察で、「南」を真ん中に書くことが多いからではないか。 3-④ 7時から9時までの月の動きを、その後の動きを予想する根拠とすることに考えが至っていない。
5年	理科	問題3	①中央の西が書けていてもその左右ができていない。②問題があることに気付かず無答の子がいた。③正午頃見えなくなった理由を聞いているのだが、児童は7時から9時までの動きのことしか書いていない。
5年	理科	問題3	3-①方位の中心を南と書く。月の位置ではなく、常に南が中心ととらえているため。さまざまな方位の図で月の動きを考えさせる指導が必要。 3-③太陽の動きと反対という記述。時間の指定があったので、月の形を見て太陽がどちらにあるかと考え、太陽がどちら側にあるから月がどうなるかと答えようとした子どもが多い。方位の範囲を狭めると、出題の意図がより伝わる。 3-④9時以降の記述が弱い場合が多い。見えなくなった最後のところまできちんと説明する文末表現の指導が必要。
5年	理科	問題3	①→「東, 南, 西」が多い。単元の学習で方位磁針を記録用紙に落とし込む活動が足りていないと考えられる。 ④→7時から9時の動きを参考にすることができていない。方角に重点を置き、動き方については「太陽と似ている」程度の学習に止まっていたのが原因と考えられる。
5年	理科	問題3	①方位磁針のイラストを見て、3つの方位を判断する問題。「東, 南, 西」「西, 南, 東」「南と北が隣り合っているもの」「東と西が隣り合っているもの」以上4つの誤答が目立った。4方位に対する理解不足、問題用紙にある方位磁針のイラストと記録用紙が関連付けられていないことが原因だと考えられる。また、太陽や月の動きで学習する東→南→西という順も影響している。問題文を読むと、「矢印の方に月が見えました。」とだけある。どこの矢印のことをいっているのか、方位磁針と記録用紙の関連についての説明も問題中に欲しいと思う。 《授業改善》南を向いた時だけでなく、そのほかの方位を向いた時の左右の方位も扱い、4つの関係をとらえられるようにする。
5年	理科	問題3	方位磁針の読み方ができていない。また、7～9時の先を予想すると～という記述がなかった。 ○方位磁石の読み方など、学年をこえて何度も用いるものについては、その都度基本的事項を確認する。
5年	理科	問題3	3-① 方位磁針を見て記録紙に書くことができない。 3-④ 条件に合わせて文章を作ることができない。
5年	理科	問題3	①観察記録の仕方を理解していない。 方角を意識して月の観察を行い、記録させる。 ④7時から9時の月の動きから10時を図に書き込むことはできたが、動きの規則性からその後の動きを推測し、説明に生かすことができない。観察や実験からきまりを見付けたり、予想したきまりを確かめたりする活動を、教師が意識して授業で行う。
5年	理科	問題3	3-①誤答 方位の正答率が低い。 3-②分析 月の1時間後の位置の記入を、記録用紙の右半分が解答欄と勘違いして右側にかいている。 3-③分析 月が見えなくなる理由を、推測する言葉を使って表現できていない。
5年	理科	問題3	④月の動きは理解しているが、文章に表現することが難しい。指定された言葉を使いきれず、解答することができなかった。学習した内容を文章化してまとめる、伝える活動を取り入れる。
6年	理科	問題2-⑥	そろえる条件として「水」を入れていない。実験の図を見せて、何の目的かを問われるのは慣れているが、目的に合わせて条件を決めることができない。一人一人が実験を実施できる力を付ける。
6年	理科	問題3-③	おしべとめしべが「別々である」ということが抜けていた。2つの花の違いを比較している点とへちまのことを記述することが、問題文から読み取れていない。読解力と、表現力が課題である。
6年	理科	問題2	⑥日光が必要であるかどうかを問うているので、変える条件は日光である。けれども、それに気付くことができなかった。実験の計画を立てる段階で、条件制御を行うよう指導していかなければならない。
6年	理科	問題2	⑥容器に水を入れることと日光を当てないのどちらかしか記述していない。
6年	理科	問題2	2-⑥日光以外の条件をそろえるために、水の条件を記入せず誤答になった。
6年	理科	問題2	2-⑥では、制御する条件のどちらか片方しか答えていない児童が多かった。
6年	理科	問題2	2-⑥ 水を入れることと、日光を当てることのどちらかだけを書いている。よく読まずに、絵を見て判断している。
6年	理科	問題2	⑥のイに水が無いことに気づかず、または気づいても記述せずに「水をやる」という記述が無い誤答が多かった。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

6年	理科	問題2	⑥→誤答:水に浸す、日光を遮るのいずれか片方しか書かれていない。 何を確かめる実験か(発芽には日光が必要かどうか)ということと、そのために揃えなければならない条件は何かを理解できていない。
6年	理科	問題2	⑥ 日光を当てないようにする、という条件のみを記入し、水を入れることについて描かれていない児童が多く見られた。資料をもとに実験方法を書くことができなかった。
6年	理科	問題2	⑥水の見落とし。
6年	理科	問題2	・2-⑥条件をそろえるための準備と、条件を変えるための準備を同時に問われているため、児童にとっては難しかったようである。一方の準備のみを書いた誤答がほとんどであった。
6年	理科	問題2	・⑥の学年の正答率が33%、無答率が10%ととても低かった。 ・「イの方には水を入れてそのまま待つ。」「箱をかぶせて暗くする」と2つの内容のどちらかの記述しかない誤答があった。さらに、「イには水を入れなくて観察する。」と調べる条件を理解していない誤答も見られた。 ・読解力がなければ、この問いに答えるのは難しいと思われる。そして、実験は調べる条件はただ1つだけで、その他の条件はすべてそろえることを指導し、1つ1つの実験で確認することが大切と考える。
6年	理科	問題2	(2)水をいれることについての記述がない。
6年	理科	問題2	⑥水を入れる、光を当てないのいずれかが書かれていない。
6年	理科	問題2	2-⑥水を加えることの記述が抜けている。もしくは暗くする方法が抜けている等、条件を満たしていない。
6年	理科	問題2	問題番号⑥ 水を入れる条件を忘れる
6年	理科	問題2	⑥水の条件だけの記述。または、日光以外の温度等の記述。条件整備の考え方を自分の言葉で説明する力。
6年	理科	問題2	⑥→植物の育ち方では、実験した結果を最終的にしっかりまとめ、理解させる。肥料+日光+水>日光+水>水であることを文章や図で理解させる。
6年	理科	問題2	⑥実験の条件制御を正しく修正する問題。そろえる条件の「水」、調べる条件の「日光」のどちらか一方しか触れていないという誤答が目立った。 《授業改善》「日光が必要かを調べるためには、どれとどれを比べればよいか」というように、組み合わせを選択しながら条件制御を考えていく授業、「日光が必要かを調べるために、どこを変えればよいか」というように実験方法を修正させる授業を行う。その際、根拠をしっかりと説明させながら行う。
6年	理科	問題2	2-⑥ 段ボール箱に入れる、アを乾かいただし綿にする、水を入れるなどの誤答。そろえる条件と変える条件の設定が理解できていない。 ○観察や実験の際に、2つの条件をしっかり押さえていくことが必要。
6年	理科	問題2	豆がひたるくらい水を入れるということが書けていない児童が多かった。
6年	理科	問題2	⑥問題文をよく読んでいないため、変える条件のみの記入になってしまった。 問題文を熟読し、何を問われているのかが正確に把握することと、与えられた資料から正しく条件を読み取る力をつける。
6年	理科	問題2	2-⑥誤答:「日光」以外の条件を、揃えていない。(正答率48%) 2-⑥分析 すべての条件を確認・整理ができていない。
6年	理科	問題2	①④⑤⑥実験の目的を明確にし、それを調べるためにはどうすればよいか、結果から何が言えるかという科学的な思考ができていない。→実験の中で意図的に行っていく。
6年	理科	問題1	③グラフから重さと周期の関係を見出す問題であったが、それを見出すことができなかった。結果をもとに考える課程を大切にしていける必要がある。
6年	理科	問題1	⑥ブランコの長さについて書かれていない。
6年	理科	問題1	②・「往復時間は同じ」という内容は書かれているが、体重や重さという言葉がないため、誤答になっていた。
6年	理科	問題1	1-①、②では、体重とブランコの長さでブランコのふれはばの3つの条件の関係が理解できていなかった。
6年	理科	問題1	②の下線太字ふれはばを15° にすることに反応し、ふれはばを15° にすると、1往復の時間が同じになるという誤答が多く見られた。
6年	理科	問題1	②→誤答:ブランコの長さは1往復する時間に関係ない。 問題文とグラフを正しく読み取ることやどのような実験なのかを想像することができなかった。

6年	理科	問題1	①②⑤ 条件制御についての理解と、与えられた資料から実験の結果を考察する力が弱い。
6年	理科	問題1	②ふりが振れる時間と重さは関係がないことを忘れていた。
6年	理科	問題1	・1-⑥ブランコの長さだけでなく、「ふれはばも大きくする」という誤答が目立った。「ふれはばの角度が往復時間に影響する」という素朴概念が抜けていない子が2割いた。
6年	理科	問題1	・⑥の学年の正答率が67%と低かった。 ・「長さを変える」「長さふれはばを変える」「長さを長くする」という誤答があった。 ・ふりこの1往復の時間がふりこの長さに関係があることの実感が伴う実験が大切であるとする。
6年	理科	問題1	(6)長さを短くし、ふれはばを大きくする。
6年	理科	問題1	①ふれはばと長さのいずれかが書かれていない。 ②「同じ」というような不正確な解答
6年	理科	問題1	1-①言葉が足りず、正答の基準に達していない。
6年	理科	問題1	問題番号① 実験では調べる穂果の条件をそろえると言うことを理解していない 問題番号② 振れ幅を15° にするという目に目を向けてしまう
6年	理科	問題1	②振れ幅の記述。問われていることに正対して答える力を付ける。
6年	理科	問題1	②→出ている資料からわかる以上のことを書いている。その条件から何がわかったのか実験の時にきちんと整理していくことが大切である。 ⑤→問題文をしっかりと読んで条件を考えていない。具体的な答えになっていない場合が多い。
6年	理科	問題1	②グラフ(重さの実験)から結論を導き出す記述式問題。「長さで決まる」「ふれはばで決まる」「体重だけでなくふれはばでも変わらない」と、グラフとは無関係に自分の正しい知識、間違った知識から記述している誤答が目立った。「このグラフの結果から」というところが無視されている。 《授業改善》実験後の考察・結論における言語活動を充実させる。結論と根拠を説明させたり、根拠を補わせたりする。また一人一人、結論と根拠を記述する活動を取り入れる。
6年	理科	問題1	1-② ふれはばが同じだと1往復時間が同じ、体重によって1往復の時間が変わるとの誤答。 1-⑤ ふれはばが変わると時間が短い、体重が軽いと時間が短い、Dさんが時間が短いとの誤答。 ○実験の条件設定と結果の考察が関連付けてなかったため、グラフの結果の読み取りも間違っていた。そろえる条件・調べる条件をしっかり押さえて実験を行うことが必要。
6年	理科	問題1	全体的にふりこの学習が定着していない児童がいる。ふりが1往復する時間が何に関係しているのか再度きまりについて復習する。
6年	理科	問題1	1-②分析(正答率74%) 他の条件は揃えて、重さのみを変化させた実験結果のグラフに変化がないことから、重さは往復時間とは関係ないという因果関係が読み取れていない。
6年	理科	問題1	①②⑤⑥条件制御や結果のグラフから何が言えるかについて、適切に考えられない。→実験の中で条件を統一しなければ比べられないことを考えさせたり、考察をさせる時間を確保していく。
6年	理科	問題3	③の問題では、イラストから、二つの違いに気付くことができたが、おしべ、めしべなどの言葉を使って簡潔に違いを表すことができない様子が見られた。考えたことを必要な言葉を使って述べる力を育てていかなければならない。
6年	理科	問題3	③雄花と雌花があることを忘れていた。
6年	理科	問題3	3-①小さく見えた時に、「倍率を上げる」を考えずに、ピントを合わせる操作「ステージを上げる、調節ねじを回す」などと書いて誤答になった。
6年	理科	問題3	ヘチマとアサガオ・ホウセンカの花の違いには気付いているが、それを的確に表現する雄花や雌花、おしべとめしべと言う語句が出てきていない。
6年	理科	問題3	3-①「調節ねじを回す」と答えた児童が多い。「小さく見えた」とピントが合わないということを混同している。
6年	理科	問題3	①では、レボルバーを安易に操作しないようにした誤答が多かった。③では、4年のヘチマの学習における雌雄異花の指導、説明が児童にとって理解するために不十分であったと考察できる。
6年	理科	問題3	③ ホウセンカ・アサガオグループと比較せず、ヘチマだけを見て考えてしまった。
6年	理科	問題3	①顕微鏡の使い方、部品の用途の理解が弱い。 ③資料から分かること、読み取れることから考察することが出来ていない。

# データ校による分析(理科)

学習指導改善調査28年度

6年	理科	問題3	・3-①「ピントを合わせる＝倍率を上げる」が混同している誤答がほとんどである。多くの子にとって対物レンズを変える経験より、調節ねじを動かした経験が多い。班の1人が倍率を整えると、他の子は対物レンズに触れない場合があるためと考えられる。
6年	理科	問題3	・③の学年の正答率が65%と低かった。 ・「花の下にめしべがある」「花びらがしおれている」等めしべやおしべにふれていない誤答が見られた。 ・植物には、めしべ・おしべが1つの花にあるものと、別々にあるものがあることを押さえ、花のつくりについては、細かなことを指しているのではないことを伝える。
6年	理科	問題3	①顕微鏡の正しい扱いや構造を理解していない。
6年	理科	問題3	3-①調節ねじを動かすという誤答が多く見られた。3-③では、花のつくりの記述ではなく受粉の仕組みについての記述になってしまい誤答となった。
6年	理科	問題3	問題番号① 調節ネジの操作で大きくなると間違えて理解している 問題番号③ 2つのグループを比べるのではなく、ヘチマのみに目を向け花の形について記述する
6年	理科	問題3	①調節ねじという記述。各部の役割や操作方法を具体的な実験を通して身に付けさせる。
6年	理科	問題3	①→顕微鏡で観察する機会を増やす。 ③→雌花と雄花がある植物のグループと、めしべとおしべが一緒になっている植物のグループがあることを、観察を通して理解させる。
6年	理科	問題3	①花粉が小さいとき、大きく見るために顕微鏡をどのように操作するかを答える問題。「対物レンズをプレパラートに近づける」「調節ねじをまわす」といった誤答が目立った。顕微鏡操作の未習熟、経験不足が原因である。 《改善の方策》一人あたりの顕微鏡操作経験を増やす。顕微鏡1台当たりの児童数が多い状況では、どうしても、やりたがる子が操作し、それ以外の子は見るだけとなりがちである。そうならないためにも、顕微鏡を増やし、一人に1台当たる状況に近づけ、一人一人が責任をもって顕微鏡を操作できる環境を整える。  ③ヘチマとホウセンカの花のつくりの違いを問う問題。対比する視点が異なる誤答が目立った。《授業改善》ヘチマ一方で知識を教えるのではなく、ヘチマとその他の植物の花のつくりを対比させ違いを抽出するような授業展開にする。
6年	理科	問題3	3-① 調節ねじをまわす、対物レンズとプレパラートを近づける、などピントを合わせる方法を記述している。 3-③ ホウセンカのグループ、おしべの位置がちがう、おぼなにめしべがあるなどの誤答。 ○倍率を変える、高い倍率・低い倍率の言葉について確認が不足していた。顕微鏡の操作が足りなかった。花のつくりは、実物を提示し、特徴を観察することが必要。
6年	理科	問題3	質問の意味がよく分からず答えている児童がいた。 答えは分かっているが、表現がうまくなく意味が通じない文章になっている児童もいた。
6年	理科	問題3	①顕微鏡で物体を大きく見たい時に、調節ねじをまわしてステージを対物レンズに近づけると書く児童が多かった。 顕微鏡の使い方や各部分の役割について再度復習する。 ③へちまの花のつくりについて正しく覚えていない。 2種類の花のつくりについて、復習をする。
6年	理科	問題3	3-①誤答:対物レンズの倍率を上げるところをステージの位置を変えると誤答(正答率44%) 3-①分析 機材の使い方を確認し、一人一人が機材を操作できるよう授業構成を工夫する。
6年	理科	問題3	①高倍率のやり方を理解していない→顕微鏡を使った観察の中で、低倍率から高倍率への操作方法を指導する。
	理科	問題2	⑥体のつくりではなく、成長の順番・様子または、3つを選ぶ問題ととらえている子が多かった。誤答例:「種は土を柔らかくしてから植える。」「葉が多くなってくると茎も太くなります。」「根、葉、茎」など。

# データ校による分析(全体)

学習指導改善調査28年度

学年	教科	問題	多く見られた誤答と分析
4年	全体		どの教科も、問題場面に応じた情報の活用に問題が見られた。また、資料から必要な情報を読み取る力が十分に身に付いていない様子も見られた。問題解決的な学習を一層推進する必要がある。
4年	全体		書かれてあることを正確に読み取ることや自分の考えを自分のことばで書くことの必要性を感じた。
4年	全体		国語の解答時間が足りないという児童が多かった。時間をいっぱいに使って解答していた。算数、理科については、時間が足りないという児童がいなかった。問題に慣れていないため、資料の多い国語については、集中力がなくなり、問題を最後まで読み取らずにミスする児童がいた。
4年	全体		算数においては、九九の確実な習得が必要である。
4年	全体		国語は、時間が足りない子が多く、算数・理科は、時間に余裕のある子が多かった。国語の2の文章題の意図が読み取れない子がいた。また、問題文も長く、表裏と続いているため、読むことに抵抗を感じる子には、かなり難しかったと考察できる。
4年	全体		※国語は、文字の量だけで圧倒されていた。「習っていないからできない。」「わからない。」「難しすぎる。」など、決して意欲的ではなかった。 ※算数と理科は、早々と終えている子が多かった。たしかめはしている様子がなかった。
4年	全体		国語は時間が足りなかった。(作文)その他は時間が余っていた。
4年	全体		・問題を理解する力が弱い。また様々な事項をつなげて考える力が弱い。 ・「理解したつもり」になっており、誰にでも分かるように表現することができていない。
4年	全体		問題文をよく読まず、自分なりの解釈で問題を解く子どもが多い。
4年	全体		・問題文の読み取り、理解が十分でないために、題意にあった答えができていない。また、説明したり、それを文章で表現したりする力が不足しているため、適切な解答ができない。 ・算数2(3、)この場合、「ぴったりかどうか」という表現が適切なのだろうか。だいたい、3つのテニスボールが箱に入っている段階で、箱の厚みがあるのでボールの直径の合計より大きくなっていると思われるので、例えば24cmの箱を持ってきたとしても「ぴったり」ではないと思う。
4年	全体		国語だけ、前年度の問題を事前にやったため、問題の形式には慣れることができた。理科と算数は、20分くらいで終わる児童が多かったが、40分かかった児童も数名いた。
4年	全体		国語は事前に前年度の問題に取り組んでいたため、やり方が分かり、スムーズに解けていた。時間的には、どの教科も40分の時間では余裕がある子が多かった。
4年	全体		初めてだったので、昨年度の問題をやってみた。比較的スムーズに取り組んでいた。問題の量が多いことに慣れていないため、戸惑っている様子が見られた(読む量が多い、説明する問題が多い)。
4年	全体		○時間は、国語は時間いっぱいまでかかる児童が多かった。算数、理科は時間内に終わる児童が多かった。3教科とも、問題の題意をしっかりと捉えられていない児童が多く、説明する問題を苦手としている。今後の授業で、ペアやグループで説明させたり、理由をノートに書かせる機会を多くとり、説明する力をつけさせるようにする。
4年	全体		《国語について》それにしても、ほんの数か月前で3年生だった児童に対して提示する資料の数としては、とても多くないだろうか。6年生を対象とした全国学力…よりも、資料の数が多く、密度が高い。特に密度が高いことで、メモも縦に見ればよいのか、横に見ればよいのかかわりにくい。
4年	全体		全体的に、根拠を明確にして説明をしたり、問題文に合った形で説明をすることができていない。
4年	全体		考え方を文章に表すこと、解き方を文で表すことに抵抗のある児童が多い。様々な教科の学習に書く作業をもっと取り入れていく必要があると感じた。国語は時間が少し短かった感じである。

# データ校による分析(全体)

学習指導改善調査28年度

4年	全体		理解できている児童とそうでない児童の二極化が生じている。 問題文が長くなると、正しく読み取れなくなる。  新聞などを読み、ラインマーカーを引き、書かれている内容を整理したり、要約をしたりさせる。
4年	全体		・問題用紙の枚数を整理できず、どこの資料を見るか分かっていない。
4年	全体		・国語は、時間いっぱいかかったが、理科はあっという間に終え、時間を持って余っていた。
5年	全体	全体	この教科でも、思考の過程を話したり、ボードに書いて残す字句を積み重ねることが大事だと改めて感じた。相手に分かるように説明する意味を教え、数値や定義、主語を入れて言葉で説明する経験をもっとさせていく。
5年	全体	全体	説明や自分の考えなどを書くという問題において誤答が多かった。考えたことを表現する力が不足している。
5年	全体	全体	・国語の解答時間が不足していた児童が多かった。逆に算数や理科についてはもてあましている子がほとんどだった。 ・子どもたちは「国語は難しかった。算数と理科は簡単だった。」という声が多かった。
5年	全体	全体	前年度の学習内容が出題されているため、学習内容を忘れていた児童が多い。定期的な復習の場は必要である。
5年	全体	全体	国語で、指定された字数を書くことができなかつた子が多かった。そのため、それ以降の問題が無答となった。また、時間が足りなかつた。
5年	全体	全体	・国語は、時間がかかった。 ・算数、理科については、早く問題を解き終える児童が多かった。
5年	全体	全体	たくさんの情報や資料を分析し、問題文を読み解き、問題に対応した答えを書くことが苦手である。また、途中で分からなくて投げ出してしまふ子も多い。
5年	全体	全体	3教科とも時間いっぱい考えていた。国語のみ、5分延長した。
5年	全体	全体	・自分なりに何となく分かっているのだが、それを誰が読んでも分かるように説明する力が不足している。普段の授業の中で、書いて説明する活動を意図的に取り入れ、相手意識をもって説明するスキルを上達させる必要がある。
5年	全体	全体	記述や作文問題は苦手意識をもっている子が多く、無答も目立った。時間がかかり過ぎたり、書く内容も条件を満たしていなかつたりすることが多い。
5年	全体	全体	・どの教科においても、問題文の読み取り不足、知識の定着不足のために、正しく答えられない。 ・順を追って説明したり、正しい言葉でわかりやすく説明したりすることができない。
5年	全体	全体	国語の問題は、時間が足りない児童が数人いた。 算数・理科は時間内に問題を解き終えている児童が大半だった。
5年	全体	全体	問いに対して、条件を満たしつつ、正対して記述して答えることに課題が見られる。また理科では方位、算数では分数の計算のように基礎基本が定着していないことによる誤答が見られる。
5年	全体	全体	理科は40分もかからずに終了した。国語の作文に時間がかかり、終えることができない児童が多かった。
5年	全体	全体	国語の時間が足りなかつた。 算数は解決の手順に沿って各問題があるが、手順通りに書けない(必要以上に書いたり抜かしたり)場合があった。 理科は、図や絵を分かりやすいものに変更してもらいたい。
5年	全体	全体	国語は時間が足りず、算数、理科は時間が余っていた。共通して問いや条件に正対する解答をできていない記述が目立った。問われていることを児童自身が言い替える活動等の不足により、読解力が不足していると考えられる。一方で、問題に粘り強く取り組む姿勢が目立った。その姿勢を生かし、児童自身に考えさせる活動を取り入れていきたい。

# データ校による分析(全体)

学習指導改善調査28年度

5年	全体	全体	<p>《国語について》 4年生同様、児童に対して提示する資料の数が、多すぎるのではないだろうか。6年生を対象とした全国学力…よりも、情報が多く、細かく見にくい。</p> <p>《算数について》 全国学テのB問題では、計算の方法を説明するような問題は出題されていない。出題されている内容は、次の3種。①解決までの手順を説明するもの。(まず、～を求めます。Aなので、…をします。～は□だと分かります。次に…)②結論や判断を説明するもの(Aだと言えます。～だからです。)③根拠を説明するもの。改善調査の記述式問題の内容も、B問題のようなものがよいのではないだろうか。</p>
5年	全体	全体	全体的に論述は、どの児童もよく記述できていた。一方で、前半の問題の意味を把握する問題で誤答が目立った。
5年	全体	全体	国語は、作文にまでいけない児童が多かった。時間がかかりすぎるのか、作文に抵抗があるのか見極めなければならない。 一人一人実験を行っていないと、答えられない問題だと感じた。(理科)
5年	全体	全体	3教科とも、記述式の設問で無答が多い。 資料や問題文を読むスピードも理解する力も不足している。特に文章表現の力がついていない。 ノートを使った授業を工夫したり、自分の考えや分かったことをまとめる時間を授業の中で確保する。ペアやグループ活動でまとめて終わりにしない。
5年	全体	全体	国語の1-①、理科の1-④など他の問題と比べ、極端に正答率の低い問題が見られた。定着が不十分の問題について復習していきたい。
6年	全体	全体	どの教科においても、資料から必要な情報を読み取る力、読み取った情報から自分なりの考えをまとめる力が十分に身に付いていない様子が見られた。資料から読み取ったことや事実をもとに自分なりの考えをまとめる力を伸ばしていく必要がある。
6年	全体	全体	無答は少なく、最後まであきらめずに考えたが、細かいところで問題の読み違いが目立った。また5年生で学習した割合の問題を思い出せない児童が目立った。
6年	全体	全体	国語において、作文の組み立てメモの資料があったため、作文を書きやすかった。しかし、時間が足りない児童が数人いて、文字数が足りないため誤答と判断されていた。 教科において名前を書く欄が1つしかなかった。
6年	全体	全体	国語で規定文字数に達していない子がかなりいた。 最後の作文問題では、採点基準で迷うことが多かった。 算数では、例文を参考にして記述すれば書きやすいものでも、自己流で書いてまとまらない子が見られた。
6年	全体	全体	・国語は、最後の記述問題に手を付け始められない児童が半数ほどいた。また、40分では終わらずに5分延長した。 ・算数、理科については、早く問題を解き終える児童が多かった。
6年	全体	全体	与えられた資料や情報が多く、そこから必要な情報を正確に読み取ることができなかつたり、問われていることに対する答えを導き出せなかつたりした。時間内に終わられなかい児童も多かった。
6年	全体	全体	国語は時間が足りなかった。(作文)その他は時間が余っていた。
6年	全体	全体	・以前に比べて、どの教科も取り組みやすい問題が増えたように感じる。国語は資料の関係で難しいとは思うが、問題用紙が減ると子どもたちがさらに取り組みやすくなる。
6年	全体	全体	算数の1(2)②の設問の解答が採点上2つに分かれていることが理解できない。2つに分けるのなら回答欄を分ける。 算数1⑤に回答欄の枠がない。
6年	全体	全体	キーワード的な言葉が抜けてしまったり、問題の意図とずれた解答が見られたりという傾向が見られた。 国語では、時間内に解答できなかった児童が多く見られた。
6年	全体	全体	検査時間は3教科とも十分な時間であった。国語の記述問題のメモ欄が工夫されていて、取り組みやすかった。算数は、割合を使った生活場面の問題を読み解く力に弱さがある。理科では、実験を一人一人が正しく行う経験を踏まないと、実験目的と条件付けを身に付けることができない。
6年	全体	全体	理科は20分程度で解答を終わる算数の問題2については難易度が高い 全体にA4印刷にすると字が細かい

# データ校による分析(全体)

学習指導改善調査28年度

6年	全体	全体	国語は、作文の時間が足りなかった。 算数は、下位の子ども(文章がなかなか読めない)には、とても難しかったようだ。普段から手順を踏んで説明する授業をすることが望まれているのだと思った。 理科は、時間が余っていた。
6年	全体	全体	・算数の問題1の⑤は、回答欄に四角囲みがない。回答しなくても良いのかという誤解が生じてしまった。 ・国語は、文章を書く問題では、引用する言葉は「」を使うなどの条件が問題に乗っていなかった。もう少しわかりやすい方がよい。 ・国語は時間が短く、算数はちょうどよい。理科は、時間が余った。
6年	全体	全体	《国語について》最後の長文記述式問題について、条件が多岐にわたるにも関わらず、児童にとってそれが捉えにくい問題用紙になっていると思う。紙面構成、文字の大きさや協調等、改善を求める。
6年	全体	全体	問題にまじめに取り組み、児童の多くは無答で終わらせず時間内に答えていた。しかし誤答が少なくなかった。
6年	全体	全体	作文の採点基準で字数が足りない児童は、それ以降採点していないが、がんばって書いている児童もいるのでなんとかしてもらいたい。
6年	全体	全体	文章や資料を正しく読み取り、それを活用する力が弱い。 雛形がある問題については、モデル文を参考にしながら書くことができるが、何も無い状態で自分の考えを書く力は弱い。
6年	全体	全体	国語は、作文指導を繰り返したことが良かったのか、最低でも字数をクリアすることができた。算数については、授業の際も理解に苦しんだ「割合」の正答率が低かった。理科については、短時間で解答を終えた児童が多かった。